

2020年度

基本資料

事業計画書
収支予算書
関連資料

公益社団法人 岡山青年会議所

The Creed of Junior Chamber International

We Believe :

That faith in God gives meaning
and purpose to human life ;
That the brotherhood of man
transcends the sovereignty of nations ;
That economic justice can best
be won by free men through free
enterprise ;
That government should be of laws
rather than of men ;
That earth's great treasure lies in
human personality ; and
That service to humanity is the
best work of life.



ミッション J C I MISSION

トゥ プロバイド デヴェロップメント オポチュニティーズ
To provide development opportunities
ザット エンパワー ヤング ピープル
That empower young people
トゥ クリエイト ポジティブ チェンジ
To create positive change.

J C I の使命

青年が積極的な変革を創造し開拓するために
能動的な活動ができる機会を創造する。

《2008年》

J C I VISION

To be the leading global network of young
active citizens.

J C I ビジョン

青年の行動的市民活動を支援する国際的な
ネットワークをもつ先導的機関となる。

J C 宣 言

日本の青年会議所は
混沌という未知の可能性を切り拓き
個人の自立性と社会の公共性が
生き生きと協和する確かな時代を築くために
率先して行動することを宣言する

〈2001年10月12日 第50回 全国会員大会大阪大会 承認〉

綱 領

われわれJAYCEEは
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者 相集い 力を合わせ
青年としての
英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

〈1960年12月総会決定〉

岡山JC三信条

- 修 練** 岡山 J C は、青年経済人として郷土の経済発展に貢献し、企業を基盤として社会貢献を
行い、不易と流行を常に意識し、行動に移すべく、自己修練を行う団体である。
- 奉 仕** 岡山 J C は、快適で活力あるまちづくりができる人材を育成する団体である。
- 友 情** 岡山 J C は、志の基に集まった会員相互が、青年会議所運動を通して、切磋琢磨し、真
の友情を培う団体である。

「21世紀における岡山青年会議所のあるべき姿」
〈1999年1月14日 第1回定時総会承認（内容同上）〉
「岡山JC三信条」

〈2009年11月4日 総会承認〉
（実施期間2010年1月1日～2014年12月31日）

2020年度スローガン

公益社団法人日本青年会議所 スローガン 全ての人びとが 笑顔で生きがいを持てる国 日本の創造	公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会 スローガン 誰もが輝き笑顔溢れる 岡山の創造
公益社団法人岡山青年会議所 スローガン ONLY ONE 巻き起こせfusion!	70周年記念ロゴマーク 

〔目 次〕

[1]	公益社団法人岡山青年会議所	2020年度	基本理念 基本方針	2
[2]	公益社団法人岡山青年会議所	2020年度	理事長所信	3
[3]	副理事長方針			6
[4]	専務理事・常任理事方針			8
[5]	委員長事業計画			9
[6]	監事抱負			14
[7]	公益社団法人岡山青年会議所	2020年度	委員会職務分掌	15
[8]	公益社団法人岡山青年会議所	2020年度	年間公式スケジュール表	17
[9]	公益社団法人岡山青年会議所	2020年度	組織図	19
[10]	第49回日本J C じゃがいもクラブ西日本地区大会組織図			20
[11]	公益社団法人日本青年会議所	2020年度	出向者	21
[12]	公益社団法人日本青年会議所	中国地区協議会	2020年度 出向者	21
[13]	公益社団法人日本青年会議所	中国地区	岡山ブロック協議会 2020年度 出向者	21
[14]	公益社団法人岡山青年会議所	2020年度	理事長セクレタリー	21
[15]	公益社団法人岡山青年会議所	2020年度	役員選挙管理委員会 委嘱メンバー	21
[16]	公益社団法人岡山青年会議所	2020年度	収支予算書	22
(付)	公益社団法人岡山青年会議所	2020年度	理事長公職委嘱表	25
	公益社団法人日本青年会議所	2020年度	組織図	26
	公益社団法人日本青年会議所	中国地区協議会	2020年度 組織図	27
	公益社団法人日本青年会議所	中国地区	岡山ブロック協議会 2020年度 組織図	27
	公益社団法人岡山青年会議所	歴代理事長		28

ONLY
ONE
巻き起こせfusion!

基本理念 我々の変化が岡山のまちを動かす原動力となる。青年の漲るエネルギーで、失敗を恐れず、果敢に挑戦し、郷土おかやまに新たなフュージョンを起こそう。歴史に学び、新たな価値を創造し、名実ともに、オンリーワンの岡山青年会議所を築きあげよう。

基本方針 共に時間を共有し自ら積極的に挑戦することにより、真の友情を培い、醸成されたリーダーシップを手に入れよう。ひとやまちのために行動し、確かな成果を残すことにより、品格ある人財へと成長していこう。

岡山が持つ多くの魅力を融合させ、オンリーワンの価値を創造しよう。同じ志を持つ多くの仲間と、手と手を取り合い、共に、誇りある「おかやま」を実現するために、青年として勇気と情熱を持った活動を展開しよう。

歴史や伝統と未来へと向かうビジョンを融合し、より強い組織を創り上げよう。自分自身の成長により組織のブランド価値を高め、オンリーワンの団体へ昇華させることで、誰一人取り残すことない未来を創造していこう。

相手の期待を超える気遣いと礼儀礼節をもって、真に価値ある場を創出しよう。目的意識と実践意識を持って参加することで人と企業の成長につながる起爆剤としよう。積極的に楽しむことで更に価値あるものに高めよう。

郷土おかやまをより発展させるため、まちづくりができる多くの人財を創出しよう。地域から必要とされ、大きな影響を与える公益団体であるために、未来を見据え、見聞を広くし、強く厳格な組織を作り上げよう。

〔２〕公益社団法人岡山青年会議所 2020年度 理事長所信



第70代理事長 高山 晃一

2015年 7月入会
後期－会員研修委員会 委員
2016年 岡山JCの魅力発信委員会委員
2017年 スケーラビリティ創造委員会 副委員長
2018年 総務委員会 理事委員長
2019年 まちづくり室 副理事長

<はじめに>

平成の時代が終わり、新たに幕を開けた令和。そして迎えた2020年。半世紀ぶりに開催される東京オリンピックや、5年後の万国博覧会の開催に、期待と高揚感に溢れる日本。急激に加速するAI技術や5Gの進化は、我々の生活をより豊かなものに変化させようとしています。一方で、各地で起こる大規模災害の脅威と不安、未だ景気回復の大きな実感を得られない国内経済など、多くの課題解決が求められるこの令和の時代は、まさに変革の時代と言えるでしょう。しかし、変革を実現し発展を望むのであれば、明るい岡山の未来に火を灯す、強いエネルギーが必要です。制度を変え、組織やコミュニティを変え、人々の考え方を換え、行動を変えていく、その一つ一つの積み重ねが、この岡山を動かす原動力となるはずです。今から70年も前に創られた岡山青年会議所の設立趣意書には「青年は人類社会発展の原動力である」と記されています。つまり、その未来は私たち青年に委ねられています。まずは私たち一人一人が変化を恐れず行動する。その変化は必ず周囲へ影響を与え、市民を、そして岡山のまちを動かすことができます。このまちを動かさんとするパワーこそが青年会議所運動の本質です。まちの変化を実感するために、岡山青年会議所の、そして郷土おかやまの衆知を結集し、岡山のまちに新たなフュージョンを起こしましょう。

本年度、岡山青年会議所は創立70周年を迎えます。過去を見つめ直し、新たな岡山青年会議所の運動を確立する絶好のチャンスです。郷土おかやまに必要とされる、オンリーワンの団体であり続けるために、令和の時代を作るのは私たちだという気概を持ち、郷土おかやまに化学反応を起こすべく、メンバー一丸となって新たなJC活動を展開していきましょう。

<ひとづくり室> 挑戦と成功体験のフュージョン

この岡山青年会議所の最大の魅力、それはこれまで受け継がれてきた「ひとづくり」と言っても過言ではありません。その手法こそ時代に合わせ変化をしてきましたが、その中でも、非効率と言われるほどメンバー同士が顔を合わせ、時間を共有する中で積み重ねる修練こそが、ひとづくりの本質であり、真のリーダーとしての成長に結びつくことに変わりはありません。年齢も立場も、育ってきた環境も異なる会員同士が、ぶつかり合いながら、同じ目的に向かい切磋琢磨し、長い時間を共に過ごす中で融合していく。そこで起こる化学反応は、計り知れない大きなエネルギーを生み、真の友情を培い、同時にまちのために活動できる人財へと成長を促します。こうして人と接することで醸成されたリーダーシップは、必ずや郷土おかやまの発展に、そして自らの社業にも、欠かすことのできない財産となるはずです。私たちは、成長を期待し、送り出してくれる会社、そして家族に対して、確かな成果で応えなければなりません。岡山青年会議所には成功体験を経験できるハードルが無限に存在します。そして、そのハードルを越えた時、成長した新たな自分を感じることができます。まずは参加をしよう。挑戦しよう。そして自らが思い描くリーダーへと共に成長していきましょう。

<まちづくり室> 岡山に溢れる無限の可能性とのフュージョン

この岡山市では、駅前をはじめ各所で計画されている再開発で、まちの景色や環境は劇的に変化をしています。物事が便利になり価値観も多様化する中で、岡山青年会議所のまちづくりも、時代に合わせた変化が必要です。たとえ小さな変化だとしても、その積み重ねは大きなうねりとなり、まちに化学反応を起こします。岡山の魅力とは何か。そのひとつに、スポーツ・観光・歴史文化・国際交流・交通インフラなど、無限の可能性を秘めた、多くの資源を保有していることが挙げられます。この磨けば光る資源同士の融合、資源と市民の融合、そして市民同士が融合することで、潜在的な可能性を引き出し、新たな価値を創造し、この岡山をより一層元気にさせることができます。その個々の資源は岡山「にもある」ものですが、融合されて生まれた新たな資源は、岡山「にしかない」資源となることでしょう。広い視野と見識をもち、青年の斬新な感性で新たな価値を追い求め、岡山のまちにしかないオンリーワンの価値を創造する、健全で魅力あふれる事業を創り出しましょう。また、郷土おかやまの未来を考える上では、産学官民との深い連携も不可欠です。郷土おかやまを、より良いまちにするという目的が一致するのであれば、積極的に手を取り、協働することで起こる化学反応もあるはずです。過去にとらわれない手法で、誰もが誇りに思えるまち「おかやま」の実現に向け、岡山青年会議所でしかできない事業を展開していきましょう。

また、本年27回目を迎える「うらじゃ」。既に岡山の夏の風物詩へと進化をしています。1994年に、先輩諸兄が「共生と融和」をテーマに、郷土おかやまの活性化のために創り育ててきた「うらじゃ」。その運営に携わることは、まち

の仕組みを知り、多くの人間関係に触れ、パワーを感じることでできる、まち一番の学びの場です。また、年間を通じて岡山に観光や教育の発展をもたらす、大きな可能性を秘めています。市民による市民のためのまつり「うらじゃ」のあるべき姿を追い求め、誰もがより能動的に参加したくなるまつりへと、成長させていきましょう。

＜未来室＞ 過去と未来のフュージョン

1951年2月、戦後の荒野で、明るい豊かな社会を実現するために立ち上がった有志により、勇気と情熱の炎が灯されてから70年。これまで多くの先輩諸兄が、この岡山で不可能と思われたことを、その情熱で数々実現してこられました。しかし、活動歴の浅いメンバーも増加する中で、これまでの歴史を学び伝える機会が減少しています。70年の節目に過去から学び、そこに現在の価値を融合し、新たな未来を創り出さなければなりません。単なる過去の延長に明るい未来はありません。不易と流行を常に意識し、変革の時代に必要なものを見極める目と、変化を恐れず大胆に行動する勇気が必要です。岡山青年会議所が80年、そして100年と、これまで以上に郷土おかやまに必要とされる団体となるべく、新たな一歩を踏み出しましょう。そのためには創立70年を迎える本年、岡山のまちに大きな軌跡とインパクトを与えられる事業が必要です。今この岡山に必要なものを見極め、それを具現化するため、LOM一丸となって、郷土おかやまに大輪の花を咲かせましょう。

また、岡山青年会議所はこのまちに、どの程度認知され、またどの程度の影響力を持っているのでしょうか。多くの市民に理解と共感を得るために、広報は極めて重要な活動です。しかも単に事業を告知するだけでなく、そこには確固たる戦略が必要です。マスメディアとの情報共有、広報誌やSNS、ホームページを活用した周知活動はもちろんのこと、新たな手法の活用も欠かせません。また岡山青年会議所の活動を通して、まちの魅力を市民に伝えることは、郷土愛の醸成にも繋がります。70周年という節目の年に、この岡山青年会議所の軌跡や事業を郷土おかやまに発信し、私たちの存在意義を一層高めていきましょう。

＜交流室＞ 集う仲間のかげがえのないフュージョン

同じ志のもとに集まった会員相互の交流は、青年会議所の魅力の中でもかけがえのないものです。まして、そのステージが、県外や国外まで広げられることは、まさに青年会議所でしか得ることのできない貴重な機会といえるでしょう。その機会をさらに価値あるものにするのが、岡山青年会議所が培ってきた伝統の「おもてなしの心」です。相手の期待を超えるような気遣いこそが「おもてなし」であり、礼儀礼節を重んじ、趣味嗜好を配慮し、参加された相手へ最大限の感謝の気持ちを持って設えを行います。一方で参加をする側も、設営側の意図を汲み取る姿勢、そして積極的に楽しみ、学ぶ姿勢が必要です。こうして双方の思いが相交わることで、真に価値ある場が創出されます。この学びと経験は、青年会議所のみならず、私たちの糧となり、人生を豊かなものに変えてくれるはずです。

また、例会はメンバーが集い、顔を合わせ、情報を交わすことでできる学びの場です。そこでは、学びの場にふさわしい、凛とした空気を大切にしなければなりません。そして、せっかく貴重な時間を費やして参加するからこそ、そこには目的と成果が必要です。何かひとつでも持ち帰り、明日から実践してやろうという高い意識を持って参加することで、個人、そして会社の成長に繋がります。また、積極的に参加したくなる会に設えをすることで、より一層活気に満ち溢れたものとなります。生き活きとしたメンバー同士で起こる化学反応は、一人一人を成長させる最大の起爆剤です。メリハリの効いた、岡山青年会議所らしい例会の在り方を、再構築していきましょう。

＜総務室＞ 強く厳格な組織へとフュージョン

岡山青年会議所を支えるもの。それは間違いなく「ひと」とであり、私たち自身です。昨今、会員数は増加傾向にあります。何のために増やすのかを明確にしなければなりません。会員拡大の最大の目的は、ただ単に組織を大きくすることではなく、まちづくりに貢献できる人財を増やすことです。そう考えた時、会員拡大は誰が行うものではなく、まちづくりを行う団体である我々メンバー全員が取り組む、LOM最大の活動です。そのためには、個々のパフォーマンスだけでなく、岡山青年会議所とは何かをメンバー全員が考え、それを全員で共有する仕組みが必要です。入会したメリットは我々がいちばん感じているはずです。それを多くの青年に伝えることで、さらなる共感を生み、数は力となり、この郷土おかやまの発展につながるのです。

また、公益社団法人である岡山青年会議所は、地域社会と融合し、郷土おかやまにより大きな影響を与える団体であるために、強くサステナブルな組織でなくてはなりません。そのためにはコンプライアンスの徹底された、社会的信用のある団体として活動していくことはもちろんのこと、新たな時代に即した組織運営が求められます。「扇の要」として、常に透明性を意識しつつも、これまでの常識にとらわれない手法で、事業や財務を吟味し、さらに効率的に最大のパフォーマンスを発揮できる仕組みを迫及していきます。今後も岡山青年会議所の活動が永続的に継続していくために、私たち自身が変化を起こし、新たな組織運営を創出していきましょう。

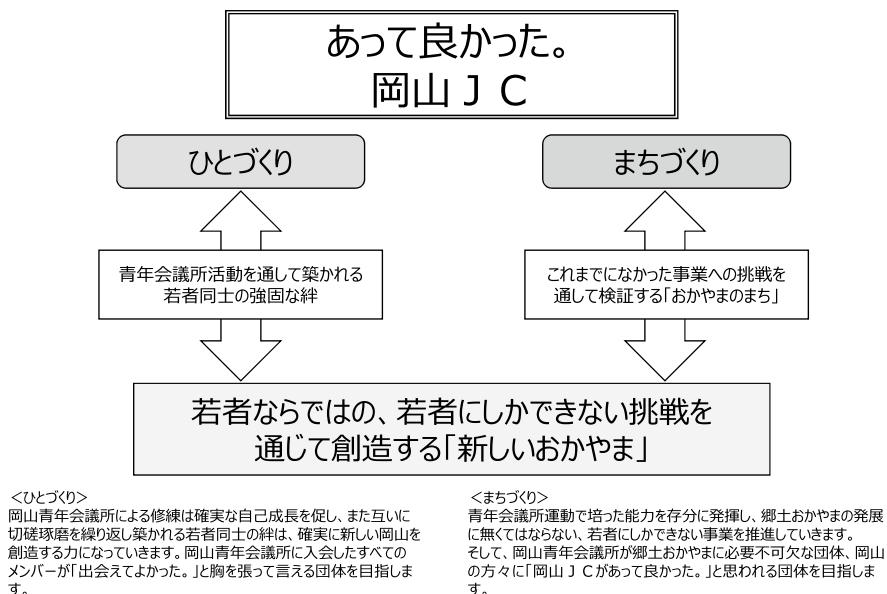
＜結びに＞

「青春とは心の若さである 信念と希望にあふれ勇気にみちて 日に新たな活動をつづける限り 青春は永遠にその人のものである」と松下幸之助翁は語っています。まさに私たち青年が、今をどう生きるべきかを示しているような言葉ではありませんか。私たちは40歳までの限られた時間を、岡山青年会議所で活動しています。そして卒業した後も、社業のため、そして郷土おかやまの発展のために、生涯現役として活動する責任があります。であるならば、今この瞬間を、自らの成長のために与えられた貴重な時間と捉え、郷土おかやまを変えんとする強い志を持ち、過去にとらわれない斬新な発想で、失敗を恐れず、活気に満ち溢れた「郷土おかやま」の新時代を築くため、ともに「青春」を謳歌しましょう。

最後に、本年度も、公益社団法人日本青年会議所に多くのメンバーが外向をさせていただきます。LOMでは得られない貴重な経験を積み、それぞれの職責を全うすることができるよう、岡山青年会議所一丸となって支援させていただく所存です。

特別会員の皆様、関係各位におかれましては、本年も、岡山青年会議所に対しまして、格別のご支援とご協力、ご指導とご鞭撻を賜りますことを心よりお願い申し上げます。

長期ビジョンスローガン・考え方



長期ビジョンアクションプログラム

立ち上がり期					浸透期		拡大期	
2020年	2021年	2022年	2023年	2024年				
長期ビジョンの検証（総務委員会）								
長期ビジョンの啓蒙		中間答申		長期ビジョンの啓蒙・策定				
既存事業の継続・発展・検証								

これまでになかった事業へ挑戦するための企画・立案・検証

- 年間10名以上の純増を目指し、2024年当初150名の会員を得ることを目標とする。
- 若者ならではの、若者にしかできない事業の企画・運営を行う事により、新しいおかやま創造の一助とする。
- 長期ビジョンスローガンを例会にて掲示する。

※ビジョン推進会議の設置

2022年に中間答申として2020年、2021年における事業に対する検証を行う。2023年、2024年に新長期ビジョン策定のためのビジョン推進会議を設置する。

※長期ビジョンの検証

事業計画書に長期ビジョンとの合致点、事業報告書に長期ビジョンの達成した点、達成できなかった点について記載し事業後の検証を行う。また、全事業終了後に総務委員会にて長期ビジョンの検証を行う。

〔3〕副理事長方針



2011年 1月入会
後期：例会親睦委員会
2012年 総務・広報委員会 幹事
2013年 岡山JCブランド確立委員会
2014年 渉外委員会 副委員長
2015年 総務委員会 理事委員長
2016年 専務理事
2017年 副理事長
2018年 交流室 副理事長
2019年 組織未来室 副理事長

ひとつくり室

副理事長 **小 林 佑 輔**

本年度、高山理事長よりひとつくり室副理事長という大役を仰せつかり、責務と役割の重さを強く感じております。70周年を迎える岡山青年会議所の歴史を振り返り、未来に引き継いでいく大切な一年間を不退転の覚悟で全うします。副理事長として高山理事長の描くオンリーワンの価値を形にし、将来岡山のまちに大きな成果を残せる人財を育成します。

70年間諸先輩方から受け継いできた、礼儀礼節を重んじ、利他の精神を持ち、心身を厳しく育てる、この誇り高き精神は不変です。本年度、ひとつくり室としては、会員研修委員会を担当し、新入会員の育成においては、共に時間を共有し、自ら積極的に挑戦することにより、真の友情を培い、醸成されたリーダーシップを手に入れられる活動を行います。そして、支えてくれる会社や家族の期待に確かにこたえることのできる品格ある人財の育成に、精一杯力を注いでまいります。また、新入会員だけでなく、現役会員の成長にも寄与できる活動や行動を、委員会メンバーが見本となり、率先して行っていく予定です。

最後になりましたが、特別会員、現役メンバーの皆様には、より一層のご指導とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



2013年 1月入会
前期一会員研修委員会 委員
後期一総務委員会 委員
2014年 拡大・広報委員会 幹事
2015年 会員拡大特別委員会 副委員長
2016年 総務委員会 副委員長
2017年 会員研修委員会 副委員長
2018年 総務室 岡山JCパワーブランド確立委員会 理事委員長
2019年 組織未来室 常任理事

まちづくり室

副理事長 **石 井 聖 至**

高山理事長のもと副理事長という大役を仰せつかり、光栄に思うと同時に、責任の重さを強く感じております。全力で高山理事長をお支えし、職責を全うして参ります。

本年度、まちづくり室副理事長として、星川委員長率いる「オンリーワン岡山確立委員会」と、二垣委員長率いる「まちづくり委員会」を担当させていただきます。活動を通してメンバーが成長を実感できる室にして参ります。

本年は、日本にとって二度目のオリンピック開催の年であり、岡山青年会議所にとっても創立70周年という大きな節目の年であります。この大きな節目である2020年をきっかけに、より多くの方々と手と手を取り合い、融合の流れを創り出すことで、おかやまのまちづくりに貢献して参ります。

また、本年度第27回を迎える「うらじゃ」におきましても、今まで以上に、市民の皆様から愛され、誇りに感じてもらえる祭りへと昇華させていくことをお約束いたします。

最後になりますが、若者らしい斬新な発想と、失敗を恐れない勇気と情熱で、オンリーワンの団体となるように邁進します。皆様におかれましては、より一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



2014年 7月入会
後期一会員研修委員会 委員
2015年 広報・渉外委員会 委員
2016年 岡山の未来創造委員会 幹事
2017年 渉外委員会 副委員長
2018年 会員研修委員会 副委員長
2019年 総務委員会 委員長

未来室

副理事長 **井 戸 啓 太**

本年度、高山理事長より未来室副理事長という大役を仰せつかり、責務と役割の重さを強く感じております。70周年を迎える岡山青年会議所の歴史を振り返り、これからの未来を創っていく大切な一年間を誰一人取り残すことなく率先して行動してまいります。副理事長として高山理事長の描く未来を形にし、大きな成果を残せるような軌跡を描いてまいります。

未来室といたしましては、綾部常任理事及び岡山の未来創造委員会大森委員長並びに広報戦略委員会古山委員長とともに、今まで紡いできていただいた歴史や伝統と未来へと向かうビジョンを融合し、より強い組織を創り上げてまいります。また、若者らしく斬新な手法と積極的な発信力を活用することによって岡山青年会議所の存在意義を高め、岡山のまちや市民にとって我々にしかできないオンリーワンの活動をしてまいります。誰もが岡山青年会議所に所属していることに誇りを感じることで、より良い未来を見据え行動してまいります。

最後になりましたが、特別会員、現役メンバーの皆様には、より一層のご指導とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



2010年 7月入会
2011年 例会親睦委員会
2012年 総務広報委員会
2013年 総務委員会 幹事
2014年 拡大・広報委員会 副委員長
2015年 真にありたいまち・おかやま創生委員会 理事委員長
2016年 渉外委員会 副委員長
2017年 常任理事
2018年 交流室 常任理事
2019年 監事

交 流 室

副理事長 **磯 島 慈 海**

「おもてなしの岡山青年会議所」といわれた時代が過去のものとなろうとしています。70周年という節目の年を迎え、その流れを止めるべく交流室は大岩委員長、加藤委員長そして磯島と奇抜な3理事を舵取りに揃え、挑戦という名の大勝負に出たと感じておられるのではないのでしょうか。私たちはこの伸るか反るかの期待に“大いに”応えるべく、突出した部分の技能を融合させ、斬新な発想で失敗を恐れず、現役会員から特別会員までが誇れる、令和の時代にふさわしい伝統を所属メンバーの総力を結集して再構築して参ります。

引き継ぐべき良き伝統を継承し、言葉だけが先行する数々の一過性の流行に感化されることなく物事の本質を捉え活動を行って参ります。真に価値ある場が創出されるよう、参加された相手へ最大限の感謝の気持ちを持って、趣味嗜好を配慮し、身を削って参加してくれた貴重な時間を最も価値あるものとするために相手の期待を超える空間を創出致します。また、凛とした雰囲気のもと、理事長の思いをメンバーが共有して、それぞれの活動の成果を効果的に高める場として誰もが参加したい、一人一人の成長の起爆剤となる会を行って参ります。

設営する時も参加する時もひとりひとりが誇りある岡山青年会議所の名を背負っていることを忘れません。あらゆることを楽しみ学ぶ姿勢を持ち、主客双方の思いが相交わる真に価値ある場へ誘って参ります。

本年を岡山青年会議所が誇るオンリーワンの“おもてなし”と“礼儀礼節”の伝統復活の秋ととらえ、青年会議所でしか得ることのできない貴重な機会をさらに価値あるものに創出する交流室を実現し、あらゆることに挑戦し乗り越え、メンバー全員で令和の新時代を築き上げて参ります。

〔４〕専務理事・常任理事方針



2015年 1月入会
前期一会員研修委員会 委員
後期一総務委員会 委員
岡山JCの魅力発信委員会
幹事
2016年 総務・広報委員会 副委員長
2017年 共感溢れるまち岡山創出委員会 副委員長
2018年 会員拡大委員会 委員長
2019年

総務室

専務理事 **安部 真良**

本年度、高山理事長より専務理事という大役を仰せつかり、責務と役割の重さを強く感じております。専務理事として、高山理事長を始め、副理事長をしっかりとお支えし、今年70周年の節目の年を迎えます岡山青年会議所の歴史を知り、将来に引き継いでいく覚悟を持って一年間活動して参ります。

総務室といたしましては、中村常任理事、竹田委員長率います会員拡大委員会と幡山委員長率います総務委員会を担当させていただき、強く厳格な組織運営を実現させて参ります。

会員拡大はLOM最大の活動としてメンバー全員が共通認識で行い、メンバー誰もが当事者意識を持ち活動する、そして、この郷土おかやまの発展に繋がり、まちづくりに貢献できる人財を一人でも多く増やすように尽力して参ります。また、地域に根付いた公益を目的とする団体として、強くサステイナブルな組織にし、市民からより信頼のおける団体になることは勿論のこと、時代に即した新たな手法を検討し、効率的に最大のパフォーマンスが発揮できる組織運営を行なって参ります。

最後になりましたが、特別会員、現役メンバーの皆様には、より一層のご指導とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。



2016年 1月入会
前期一会員研修委員会 委員
後期一会員研修委員会 委員
2017年 スケーラビリティ創造委員会 幹事
2018年 総務委員会 副委員長
2019年 岡山JCブランディング委員会 委員長

未来室

常任理事 **綾部 健二郎**

本年度、高山理事長より未来室常任理事という大役を拝命し、大変身の引き締まる思いです。井戸副理事長とともに、大森委員長率いる岡山の未来創造委員会と、古山委員長率いる広報戦略委員会を担当させていただきます。

1951年に設立された岡山青年会議所は本年度、70周年を迎えます。会員は増加傾向にある一方で、在籍歴の浅い会員が増えていることも事実であります。だからこそ岡山青年会議所の不易と流行を改めて見つめ直し、変化を恐れない若者らしいチャレンジ精神で、おかやまのまちに大きなインパクトを残せる、70周年にふさわしい事業を展開すべく活動してまいります。そしてSNSの発達をはじめとする超情報化社会となった現代において、戦略性のある広報を展開し、岡山青年会議所の存在価値をさらに高めるブランディング活動は必須であると言えます。岡山青年会議所が80年、100年と続き、地域や市民に求められる団体であり続けられるよう、この70周年の機会を好機と捉え、全力で活動していく所存です。

最後になりますが、特別会員、現役会員の皆様におかれましては、一層のご指導ご鞭撻、そしてご支援ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



2016年 1月入会
前期一会員研修委員会 委員
後期一岡山JCの魅力発信委員会 委員
2017年 会員研修委員会 幹事
2018年 総務委員会 副委員長
2019年 エキサイトおかやま委員会 委員長

総務室

常任理事 **中村 彰宏**

本年度、高山理事長より総務室常任理事という大役を仰せつかり、深い感謝とともに職責の重さを実感しております。安部専務理事のもと、総務委員会・幡山委員長と共に、70周年という大きな節目を迎える2020年度の岡山青年会議所に新たな歴史を刻むべく、全力で邁進していく所存でございます。

本年度の総務室は、高山理事長の掲げる「歴史に学び、新たな価値を創造する、名実ともに、オンラインの岡山青年会議所」を築きあげるべく、不易流行をとらえて地域社会と融合した、チャレンジ精神あふれる事業をまちに発信することができる団体にすることで、将来に向けて持続可能な組織にしていきたいと思います。コンプライアンスの徹底された組織運営を行うのは勿論のこと、会議運営や規則を追求することで強く厳格な組織へのフュージョンを実現させます。それによりボトムアップされた岡山青年会議所がブランド価値を高めてより魅力ある団体となることで、会員拡大への大きな架け橋になります。そして会員拡大は会員一人ひとりが拡大活動に高い意識を持ち行うLOM全体の最大な活動だと会員全員に認識させるよう尽力いたします。

最後に特別会員および現役会員の皆様方には一層のご指導ご鞭撻、またご支援を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

〔5〕委員長事業計画

ひとづくり室 会員研修委員会



2011年 1月入会
後期：例会親睦委員会
2012年 総務・広報委員会 幹事
2013年 岡山JCブランド確立委員会
2014年 渉外委員会 副委員長
2015年 総務委員会 理事委員長
2016年 専務理事
2017年 副理事長
2018年 交流室 副理事長
2019年 組織未来室 副理事長

委員長 小林 佑 輔

本年度、高山理事長よりひとづくり室副理事長兼会員研修委員会委員長という大役を仰せつかり、責務と役割の重さを強く感じております。岡山青年会議所が70年間諸先輩方から受け継いできた、礼儀礼節を重んじ、利他の精神を持ち、心身を厳しく育てる、この誇り高き精神を胸に、将来周りに大きな成果を残せるような人財を育成してまいります。

本年度、ひとづくり室では、まず青年経済人としてのマナーや礼儀、考え方を身につけるべく、新会員勉強会を開催します。岡山の経済界、地域社会を牽引する岡山青年会議所の特別会員である先輩を講師としてお招きし、ご講演いただくことで、岡山青年会議所での活動の経験や、リーダーシップやフォロワーシップ、利他の精神を学ぶ機会を創ります。最初のプログラムとして、3分間スピーチを行うことにより自己開示を行い、徹底的に自分自身と向き合うことで、自己実現のためのビジョンを明確にします。2つ目のプログラムとして、団結して困難に立ち向かい、その過程の中でお互いに切磋琢磨することで、日常では得ることのできない友情と感動体験を創出します。最後のプログラムとして、LOMサービス事業の企画・運営を通じ、岡山青年会議所の事業運営の基礎を学び、おもてなしや利他の精神を体感し、困難の先にある大きな成長と真の友情を築いていただきます。また、研修プログラムだけではなく、日本青年会議所の事業にも積極的に参加し、新会員へその意義を伝え、多くの価値観に触れ、各地メンバーとの出会いの場を創ります。また、LOM開催事業にも積極的に参加し、岡山青年会議所が担うまちづくりの役割を体感してもらいます。

これら研修プログラムの目的を明確にし、長い時間を共に過ごすことで、JCメンバーとしての醸成されたリーダーシップを培い、支えてくれるひとやまちに確かな成果を残すことの出来る品格ある人財の育成を実践するとともに、岡山のまちに新たなフュージョンを起こせるリーダーを育成するべく、オンリーワンのひとづくりを徹底しておこなってまいります。

まちづくり室 オンリーワンおかやま確立委員会



2016年 7月入会
後期一会員研修委員会 委員
2017年 リソース向上委員会 委員
2018年 渉外委員会 幹事
2019年 会員拡大委員会 副委員長

委員長 星 川 基 浩

岡山青年会議所は設立から現在に至る70年の間に、多くの「まちづくり」を行ってきました。しかし時代や環境の変化、再開発、老朽化などで移り変わった物も多くあります。だからこそ岡山青年会議所は行動力と感性で、新たなオンリーワンを確立していくことが重要です。そのオンリーワンこそが地方都市である郷土おかやまを、より魅力ある街に発展させる方法であり、岡山青年会議所に求められている「まちづくり」の在り方だと考えます。

青少年育成事業については、学校では学ぶことのできない就労体験を通じ、社会の仕組みを学び、未来への希望を子供たちに伝える事業を実施いたします。本年度は、仕事の内容や、社会の仕組みをよりブラッシュアップし、ハンディキャップを持った子供達も参加できる、誰一人取り残さない事業へと昇華させます。それと同時に、民間への事業継承をスムーズに進めるために、関係各所との連携強化、事業運営の仕組み創りを行ってまいります。

また、新たな青少年育成事業を進めていきます。日本青年会議所が力強く推進する「SDGs」と、オリンピックイヤーに相応しく「スポーツ」とを融合させ、岡山市全体を巻き込んだ、岡山青年会議所のブランディングにも繋がる、誰も取り残さない新たなオンリーワン事業を創造します。

我々の活動は、従来そこにある地域資源を、若者らしい発想で融合させ、相乗効果で新たなオンリーワンを創り上げる事です。しかし、資源には限りがあり、行政からの支援も無限ではありません。だからこそ、今まで以上に地域の皆様に「共感」される事業を力強く展開をしていくことで、産官学民による今までにない融合が起こり、新たな資源や支援が生まれます。そのためには、何よりも私たち自身が、青年としての英知と勇気と情熱を持って、新たなまちづくりに、委員会だけに拘らず、失敗を恐れずチャレンジし続けることが重要なのです。そのチャレンジは必ず委員会メンバーの成長となり、岡山青年会議所の新たなオンリーワンのまちづくりを作り上げる事に繋がると確信しています。

まちづくり室 まちづくり委員会



委員長 二 垣 幸 広

2016年 1月入会
前期一会員研修委員会 委員
後期一岡山の未来創造委員会
2017年 総務・広報委員会 委員
2018年 共感溢れるまちおかやま創
出委員会 幹事
2019年 エキサイトおかやま委員会
副委員長

私たちが住み暮らすまちおかやまは、中四国の交通のクロスポイントに位置し、全国的にも非常に優れた交通の広域拠点性から、商業、医療、学術など高次の都市機能が集積されています。また、災害の少なさと豊かな自然環境にも恵まれ、市民にも住みやすいまちとして一定の評価がされています。他方、全国的な認知度は必ずしも高いとは言えず、市民が地域への愛着や関心を高め、おかやまのまちを国内外に向けて積極的に発信したくなる仕組みづくりが求められています。

我々まちづくり委員会は、先人から引き継いだおかやま固有の歴史、伝統、文化などの価値資源を用いて、一人でも多くの市民がおかやまを好きになり、能動的にまちづくりに参加したくなる意識改革の担い手となります。

本年度第27回目を迎える「うらじゃ」は、今やおかやまの夏の風物詩と言っても過言ではありません。先輩諸兄が「共生と融和」をテーマに創り上げ、行政、マスコミ、企業、学生、そして市民が互いに手を取り合い、その殆どをボランティアスタッフが運営する市民参加型のまつりです。市内県内だけではなく県外からも毎年多くの踊り子が参加し、確実におかやまのまちに定着しています。

しかしながら、近年では観客動員数、踊り連数とともに伸び悩んでおります。開催時期の再検討など、運営を一から再構築することで新たな可能性を見出し、より多くの市民に愛されるまつりへと成長させていきます。

また、将来のおかやまのまちを担う若い世代に向けて、「うらじゃ」がより身近な存在になるよう振興活動をして参ります。教育現場や他団体と連携し、本祭期間中だけでなく年間を通じ生活の一部となるよう、アナログデジタル両面にて「うらじゃ」の神髄を伝承いたします。

創立70周年の節目を迎える岡山青年会議所の一員だからこそ、「うらじゃ」を今一度見つめ直し、新たなステージへと導きます。委員会メンバー全員が全力で考え果敢に挑戦し、郷土おかやまの為に動ける人財へと成長することで、名実ともにオンリーワンの岡山青年会議所を築きあげます。

未 来 室 岡山の未来創造委員会



委員長 大 森 将 平

2016年 7月入会
後期一会員研修委員会 委員
2017年 まちづくり委員会 委員
2018年 総務委員会 幹事
2019年 まちづくり委員会 副委員長

岡山青年会議所は本年度、創立70周年の節目の年を迎え、変革を実現し新たにスタートをきる絶好のチャンスを迎えました。だからこそこれまで諸先輩方が築き上げてくださった歴史をしっかりと学び、今の時代に求められていることを的確に把握し、私たち青年の若い力で、郷土おかやまに今までにない魅力を創造していかなくてはなりません。これからも岡山のまちを動かす原動力であり、最も強い影響力を発信することのできる団体であり続けるために活動してまいります。

70周年の記念式典を開催し、岡山青年会議所現役会員はもちろん特別会員の皆様と69年の歩みを振り返り、諸先輩方の活動に敬意を表し、これまでの軌跡から岡山青年会議所の歴史を学び、今の時代を融合した新たな未来を創造します。ご来賓の方々にもこれまで岡山青年会議所だからこそ実現してきたことを再度認識していただきます。70周年を記念する事業は、不易と流行を意識した中でも、決して変化を恐れず大胆に行動する若者らしいチャレンジ精神で現在の岡山のまちに最大のインパクトを与える事業である必要があります。これまで以上に密接に行政と関わり、協力し合いながら地元市民に賛同をいただける事業を創造し、私たちの活動が幅広く認知されるだけではなく、地域経済にも影響を与えることのできる現代の岡山のまちを盛り上げていくために最も必要な事業を展開してまいります。岡山のまちを動かす原動力となる唯一の団体として、子どもたちや子育て世代の若者に夢や希望、感動を与え、誰もがこの岡山のまちを誇りに思えるよう、このまちの新たな魅力を地域に伝えていきます。そして郷土おかやまに岡山青年会議所の存在意義をより一層高めていけるよう、新たな一歩を踏み出してまいります。

私たちの事業は必ず周囲に影響を与え、多くの市民と岡山のまちを動かすことができます。郷土おかやま発展のため、自らの成長のためにも、失敗を恐れることなく大胆に行動するからこそ実現できる、名実ともにオンリーワンの岡山青年会議所を築きあげてまいります。

未 来 室 広報戦略委員会



委員長 古 山 久 幸

2017年 1月入会
前期一会員研修委員会 委員
後期一交流推進委員会 委員
2018年 渉外委員会 委員
2019年 渉外委員会 副委員長

昨今、めまぐるしく発達している通信環境により、様々な形で情報発信することができます。しかし、岡山青年会議所はまだ認知度が低い現状であることから当委員会は如何に戦略的な広報を行い、効率的に對外・対内問わず情報発信できるかを見極めていく必要があります。岡山青年会議所の価値を高めていくべく、魅力溢れる事業を当委員会はしっかりと発信してまいります。

そのために、当委員会は青年会議所メンバーのみならず市民にも幅広く受け入れられるように、より手軽に情報発信できる体制を整えます。積極的にL O Mの運動、活動には必ず随行し、広報誌やマスメディアの利用、L O Mではリアルタイムな情報を発信するなど戦略的な広報を年間通じて実施いたします。そして新たな取り組みとして、画像で伝えづらいことも、動画配信を通じて、今以上に岡山青年会議所の魅力や活動内容をしっかりと発信することで、多くの方に共感と認知度を高めていきます。そしてL O M内では各委員会と連携を図り、対外事業における事前広報にも積極的に関わり、L O Mにおける戦略的な広報によるスタンダード手法を築いていくことに取り組みます。新年賀詞交換会では、特別会員と現役会員との交流の場であり絆を深めることはもとより、他L O Mや行政機関に対して岡山青年会議所の存在感を示すことができる設えを実施いたします。記念すべき70周年の幕開けとなる事業となることから、失敗を恐れず果敢に挑戦し次世代に残せる設営をいたします。

広報戦略委員会メンバーには事業を行う目的や意義をしっかりと伝えてまいります。そして、限りある一年を託してくれた委員会メンバーと共に活気に満ち溢れる委員会運営を目指してまいります。岡山青年会議所の歩みと、これから新たに歩む軌跡とを、マスメディアを巻き込み、SNS、広報誌やHP、そして新たな手法を用いてしっかりと戦略的に広報することで、今まで以上に価値や存在意義を一層高め、70周年を迎える岡山青年会議所を名実ともにオンリーワンの団体へと築きあげてまいります。

交 流 室 渉外委員会



委員長 大 岩 裕 季

2017年 7月入会
後期一会員研修委員会 委員
2018年 まちづくり委員会 委員
2019年 エキサイトおかやま委員会 副委員長

令和の時代はまさに変革の時代です。変革を実現し発展を望むのであれば、制度や組織、行動を変えななど一つ一つの積み重ねが重要となってきます。岡山青年会議所だけでは得られない貴重な経験をするために、他L O Mと交流し、化学反応を起こすことで、さらに強いエネルギーを作り出すことが必要となります。

渉外委員会は、他L O Mや、ブロックや地区の事業、全国大会の情報を迅速に正確にL O Mメンバーに流さなければなりません。その情報を得ることで初めて、L O Mメンバーは事業を知り、目的意識を持って事業に参加できるようになります。岡山市以外の事業に参加し、そのL O Mの方々と交流することで、メンバーは岡山では得ることのできない貴重な経験を行うことが出来ます。それを県外や国外まで広げることで、青年会議所でしか得ることのできない貴重な機会を皆に与えることが渉外委員会の責務の一つです。

また、岡山青年会議所メンバーを含め、参加者全員に有意義な情報交換の場を設営しなければなりません。そして、参加者全員に楽しんでいただく中で、経験と学びを得る場といたします。交歓会においては迎え入れたL O Mに、この会に参加してよかった、この会を真似したいと思われるような会を設営するようにいたします。そのためには、相手の期待を超える気遣いと礼儀礼節「おもてなしの心」を持って行う事で、必然的に期待以上の感動を与えられることが出来ます。そして、出向者を支援する事業においては、今までの形にとらわれることなく、真に出向者を労う時期や時間を考える必要があります。出向者が参加でき、多くのL O Mメンバーが彼らを労う事が出来る場を準備いたします。そして出向者を労う中で、メンバーにも成長の場を提供いたします。

全ての事業に、皆様に積極的に参加していただき、積極的に楽しんでいただくような事業を設営してまいります。そして参加していただいた全ての方が毎回新しい発見をし、成長を後押しすることで、オンリーワンの岡山青年会議所を築き上げる一助となってまいります。

交 流 室 例会委員会



委員長 加 藤 高 明

設立70周年という記念すべき2020年。戦後の復興から産声を上げた岡山青年会議所という組織は、70年という長い時間の中で姿形を変えながら、「青年は人類社会発展の原動力」という核は設立時から変化していません。例会は、設立時から現在まで続く最長の事業といえ、例会のレベルは、その会の現状を如実に表しています。ところが、近年、会員数の増加やメンバーの在籍年数の低下により、例会の開催理由から考える必要があります。

岡山青年会議所の活動の基本となる場、それが例会です。明確な目的意識をもってメンバーが参加し、その目的に応えることが例会委員会の職責であり、設営側にとっても学びの場といたします。16回ある例会は、全て異なる意義があり、その一つひとつに参加するメンバーに知ってもらうことは基より、気づきや学びをメンバーに提供してまいります。通常の例会では参加する姿勢の再確認、具体的には例会の受付、開会までの時間の過ごし方、人の話を聞く際の姿勢、閉会後の移動等、多くあります。各事業においては、L O M全体に影響を与えることができる立場を生かし、例会の役割・意味の発信につなげます。設営委員会の凛とした姿勢は、L O M全体へと広がり、例会会場に凛とした空気に満ち溢れます。例えば、企画例会では普段の例会とは全く異なる設えにすることで、メリハリのある例会とし、L O Mの活性化につなげます。公開例会においては、参加したメンバーの記憶に残り人生に影響を与える機会とし、行政等の他団体と融合し、岡山市民の方々に岡山青年会議所がオンリーワンと言わしめる所為を示す絶好の機会といたします。このような例会の企画・設営に尽力することで、岡山青年会議所の不易を次の世代に伝え、今ある流行と不易の調和により醸し出される新しい環境創りをお約束いたします。

岡山青年会議所が例会のイロハをこの節目に見直し徹底することで、設営側も参加側も主客一体の精神で挑戦し行動できるオンリーワンの人財を育みます。それがオンリーワンの岡山青年会議所を築きます。

2015年 1月入会
前期一会員研修委員会 委員
後期一会員拡大特別委員会 委員
2016年 まちづくり委員会 幹事
2017年 交流推進委員会 副委員長
2018年 岡山JCパワーブランド確立委員会 副委員長
2019年 岡山JCブランディング委員会 副委員長

総 務 室 会員拡大委員会



委員長 竹 田 直 也

少子高齢化社会の今、多くの企業や団体の人材不足が社会現象となっています。

日本青年会議所の会員数も減少する中、岡山青年会議所は早い段階から問題意識を持ち、最近の会員数は増加傾向にあります。しかし、最も必要なことはただ単に組織を大きくすることではなく、まちづくりに貢献できる人財を増やすことです。さらには毎年、多くのメンバーが卒業していくため、会員拡大はメンバー全員が意識をしなければならないL O M最大の課題でもあります。我々岡山青年会議所が郷土おかやまのオンリーワンの団体となるためには、より多くの仲間を集め、一人ひとりが変化を恐れず行動し、岡山のまちに新たなフュージョンを起こさなければなりません。

当委員会は各委員会のメンバーと積極的に交流を深め、一人ひとりが会員拡大活動に積極的に取り組む意識を持ってもらえることを本年度の最大のテーマとして活動して参ります。会員拡大については、前期入会15名、後期入会15名の拡大を目標に取り組みます。そして本年度だけではなく、未来の会員拡大活動のために、細かい分析をした対象者一覧をデータ化し、過去の成功例と本年度の活動内容の手法をまとめ、誰もが拡大しやすいシステム構築を行い、マニュアル化をすすめます。新たな取り組みとして役及び、特別会員の皆様にも協力していただき、業種別の交流会及び勉強会を複数回行います。会員拡大委員会は、岡山青年会議所唯一の数字という結果で判断される厳しい活動を行っていく委員会になりますので、危機感を常に持ちながらも、これからの岡山を支えていく新たな人材発掘の楽しさと喜びを学びながら、一丸となって目標を達成します。

そして委員会メンバーには、一人一人が主体的に行動し、周囲の協力、理解を得ながらL O M全体を引っ張る「巻き込み力」を勉強してもらいます。また出向や県内外の事業へ積極的に参加することを促し、様々な出会いや経験を得る機会を与えることで、全員が岡山青年会議所の未来を担っていくオンリーワンの人財に成長できるよう邁進して参ります。

2016年 7月入会
後期一会員研修委員会 委員
2017年 例会委員会 委員
2018年 会員研修委員会 幹事
2019年 総務委員会 副委員長

総務室 総務委員会



委員長 幡 山 益 聖

岡山青年会議所は失敗を恐れず変化を求め、規律や礼儀礼節を重んじ、ひとやまちに影響を与える活動を行ってきました。今後も郷土おかやまにとって無くてはならない存在であり続けるには、組織運営の強靱化やメンバーの資質向上が今以上に求められてきます。

本年度の総務委員会は「持続可能で規律ある組織運営」を念頭に、有意義な議論ができる環境づくりに努めてまいります。総会や理事会の会議運営を規律あるものとするために、定款に沿った適切な運営や資料の作成を徹底いたします。そして、現状の管理データのシステム内容を見直し、それを更に活用できるシステムとし、適切な個人情報管理体制を確立します。

また、社会的信用ある岡山青年会議所だからこそ今以上の資質向上が求められることから、時代の変化に適した組織運営を心掛けていく必要があります。扇の要として活動する総務委員会では、組織の根幹となる委員会として、諸会議が効率的に進行するよう、岡山青年会議所の事業を適正に精査し、事業の意味と方向性を見出していかなければなりません。総務上程前には総務委員会内で、メンバーに対して上程内容の事前ヒアリングを行って、メンバー同士の連携、情報共有をすることで、スムーズな運営ができる場を創出します。そうすることでメンバー一人一人が上程に対して当事者意識を持ってもらい、メンバーが最大パフォーマンスを発揮できる一助とします。さらには予定者セミナーを開催することで、他委員会の委員長、副委員長、幹事に対してもそれぞれの立場の重要性を再度認識してもらえる場を設えます。それによりメンバーが活動に対して計画段階から報告まで能動的に行動できるよう、総務委員会としてサポートしていける環境を創ります。

メンバーが組織運営をより理解し、地域社会との融合を今以上に強めることで、市民から共感を得られる組織へと更に躍進させることができます。L O Mの未来を担い、価値ある活動を心掛け新時代を築く人財育成によって、オンリーワンの組織を確立し、規律ある運営に努めて参ります。

2015年 7月入会
後期一会員研修委員会 委員
2016年 渉外委員会 委員
2017年 総務・広報委員会 幹事
2018年 会員研修委員会 副委員長
2019年 会員拡大委員会 副委員長

〔6〕 監事抱負



監事 杉 大 和

２０２０年度、高山理事長より公益社団法人岡山青年会議所監事のご指名をいただき、その重責を強く感じております。歴史と伝統のある岡山青年会議所の監事としての最後まで身を引き締めて臨んで参る所存でございます。

本年度、岡山青年会議所は創立７０年の節目を迎えます。連綿と受け継がれてきた歴史ある岡山青年会議所は、特別会員の皆様が積み上げられてきた不易の部分に基づき、青年として新たなことに果敢にチャレンジし、郷土おかやまに必要とされるオンリーワンの団体としてあり続けなければなりません。

高山理事長が掲げる理念や所信に基づく事業が実施されているかどうか、岡山青年会議所の事業・活動をしっかり理解し、これまで私が経験してきたこと、先輩方からご教授いただいたことを、監事という俯瞰的な立場からL O Mメンバーの皆さんにお伝えするということを通して、２０２０年度の岡山青年会議所の運営に携わって参ります。

最後になりますが、青年会議所活動の最終年度として、今一度初心に立ち戻り全力で青年会議所活動をしてまいります。特別会員・現役会員の皆様方にはより一層のご指導・ご鞭撻、ご支援ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2014年 7月入会
後期－会員研修委員会 委員
2015年 総務委員会 委員
2016年 渉外委員会 幹事
2017年 リソース向上委員会 副委員長
2018年 交流室 渉外委員会 理事
2019年 まちづくり室 常任理事



監事 關 和 敏

本年度、公益社団法人岡山青年会議所の監事という大役を高山理事長から拝命し、本当に身の引き締まる思いです。岡山青年会議所は、７０年を迎えます。脈々と受け継がれた歴史ある伝統を継承しつつ、常に岡山青年会議所の不易と流行を意識し新たなフュージョンを起こし時代に即した運動ができていくか、会員増加に伴う組織運営の在り方について監査して参る所存です。

また、監査だけではなく、高山理事長の基本理念、基本方針に沿った事業展開の一助となり、１１年間先輩諸兄から学ばせていただきましたこと、私自身の経験や、体験してきたことを余すことなくメンバーに伝え、岡山青年会議所の運営に携わらせていただきます。

最後になりますが、岡山青年会議所の学び舎で最終年度として、全力で青年会議所活動を邁進して参る所存でございます。特別会員、現役会員の皆様におかれましては一層のご指導ご鞭撻、ご支援ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2010年 1月入会
前期－会員研修委員会 委員
後期－例会・親睦委員会 委員
2011年 例会・親睦 委員会 委員
2012年 一体感ある地域の絆創造委員会 委員
2013年 会員研修委員会 幹事
2014年 協創力確立委員会 副委員長
2015年 まちづくり委員会 副委員長
2016年 岡山の未来創造委員会 副委員長
2017年 渉外委員会 副委員長
2018年 まちづくり室 共感溢れるまち
おかやま創出委員会 理事委員長
2019年 交流室 常任理事

〔 7 〕 公益社団法人岡山青年会議所 2020年度 委員会職務分掌

【会員研修委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員 2 名・前期新会員 2 名の獲得」
- ・ 変革の時代に相応しい手法による新会員研修のあり方の模索、実践
- ・ 青年経済人としての礼儀・マナーの研修
- ・ J C I C r e e d、J C I M I S S I O N、J C I V I S I O N、J C 宣言・綱領、岡山 J C 三信条及び長期ビジョンの啓蒙
- ・ 講師委員会の開催
- ・ 3 分間スピーチの実施
- ・ 団結して困難に立ち向かい、切磋琢磨しながら、一つのことを為すことにより、友情を築くプログラムを実施
- ・ L O M サービス事業を通しての研修
- ・ コミュニティープラザの開催
- ・ 他委員会の委員会訪問の実施
- ・ L O M 開催事業への積極的参加と協力
- ・ 日本 J C、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援協力
- ・ 第 2 7 回「うらじゃ」への支援・協力
- ・ 7 0 周年式典・記念事業への支援・協力
- ・ 第 4 9 回日本 J C じゃがいもクラブ西日本大会への支援・協力

【オンリーワンおかやま確立委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員 2 名・前期新会員 2 名の獲得」
- ・ 地域経済の発展を担う岡山下の企業の活性化につながる事業の企画・実施
- ・ 地域の発展を担う青少年の成長と S D G s の目的と融合させた青少年育成事業の実施と企画
- ・ 緊急災害時における対応
- ・ L O M 開催事業への積極的参加と協力
- ・ 日本 J C、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援協力
- ・ 第 2 7 回「うらじゃ」への支援・協力
- ・ 7 0 周年式典・記念事業への支援・協力
- ・ 第 4 9 回日本 J C じゃがいもクラブ西日本大会への支援・協力

【まちづくり委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員 2 名・前期新会員 2 名の獲得」
- ・ うらじゃ開催支援広告募集事業の企画・実施
- ・ うらじゃ振興活動事業の企画・実施
- ・ 行政・報道機関意見交換会の企画・実施

- ・ 第 2 7 回うらじゃ実行委員会への参画
- ・ うらじゃ振興会への参画
- ・ うらじゃ実行委員会総務部会業務マニュアルの更新
- ・ おかやま桃太郎まつりへの協力・支援
- ・ L O M 開催事業への積極的参加と協力
- ・ 日本 J C、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援協力
- ・ 7 0 周年式典・記念事業への支援・協力
- ・ 第 4 9 回日本 J C じゃがいもクラブ西日本大会への支援・協力

【岡山の未来創造委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員 2 名・前期新会員 2 名の獲得」
- ・ 創立 7 0 周年記念式典・祝賀会の実施
- ・ 創立 7 0 周年記念事業の実施
- ・ 創立 7 0 周年記念誌の発行
- ・ L O M 開催事業への積極的参加と協力
- ・ 日本 J C、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援協力
- ・ 第 2 7 回「うらじゃ」への支援・協力
- ・ 第 4 9 回日本 J C じゃがいもクラブ西日本大会への支援・協力

【広報戦略委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員 2 名・前期新会員 2 名の獲得」
- ・ 特別会員・現役会員合同新年賀詞交歓会の実施
- ・ 対内・対外的な広報の見直し及び検討・実施
- ・ L O M における戦略的な広報によるスタンダードの確立
- ・ 広報誌「暖流」の発行
- ・ ホームページの制作・運用
- ・ 報道機関への対応及び行政・報道機関意見交換会の検討・実施
- ・ 7 0 周年式典・記念事業への支援・協力
- ・ L O M 開催事業への積極的参加と協力
- ・ 日本 J C、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援協力
- ・ 第 2 7 回「うらじゃ」への支援・協力
- ・ 第 4 9 回日本 J C じゃがいもクラブ西日本大会への支援・協力

【渉外委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員 2 名・前期新会員 2 名

の獲得」

- ・ 出向者を支援する事業の企画・設営・実施
- ・ スポンサー L O M ・ 友好 L O M との連絡調整及び交歓会等の企画・設営・実施
- ・ 昭和 5 5 年生まれ卒業事業の企画・設営・実施
- ・ 県外 L O M との交流・折衝
- ・ 日本 J C ・ 中国地区協議会・岡山ブロック協議会の主催する事業への積極的参加を促す手法の検討・構築及び参加の取り纏め
- ・ L O M 開催事業への積極的参加と協力
- ・ 日本 J C 、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援協力
- ・ 第 2 7 回「うらじゃ」への支援・協力
- ・ 7 0 周年式典・記念事業への支援・協力
- ・ 第 4 9 回日本 J C ジャがいもクラブ西日本大会への支援・協力

【例会委員会】

- ・ 会員拡大「後期新会員 2 名・前期新会員 2 名の獲得」
- ・ 例会の運営・実施
- ・ 岡山ブロック協議会会長公式訪問例会の企画・設営・実施
- ・ 企画例会の設営・実施
- ・ 特別会員・現役会員合同例会の企画・設営・実施
- ・ 公開例会の企画・設営・実施
- ・ 卒業生の記憶に残る例会の企画・設営・実施
- ・ 昭和 5 5 年生まれ卒業事業の開催の支援・協力
- ・ スマイル実施
- ・ L O M 開催事業への積極的参加と協力
- ・ 日本 J C 、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援協力
- ・ 第 2 7 回「うらじゃ」への支援・協力
- ・ 7 0 周年式典・記念事業への支援・協力
- ・ 第 4 9 回日本 J C ジャがいもクラブ西日本大会への支援・協力

【会員拡大委員会】

- ・ 会員拡大「後期 4 名前期 4 名の新会員の獲得」
- ・ 他委員会の拡大活動目標達成のための支援
- ・ 会員拡大に向けて岡山市内の各企業・事業所への訪問
- ・ 委員長連絡会議、拡大会議の設営・開催
- ・ 入会予定者へのオリエンテーションの開催と面接の準備・設営
- ・ 拡大交流会の企画・設営・実施
- ・ 会員ひとりひとりが輝く存在になるための啓蒙活動

- ・ L O M 開催事業への積極的参加と協力
- ・ 日本 J C 、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援協力
- ・ 第 2 7 回「うらじゃ」への支援・協力
- ・ 7 0 周年式典・記念事業への支援・協力
- ・ 第 4 9 回日本 J C ジャがいもクラブ西日本大会への支援・協力

【総務委員会】

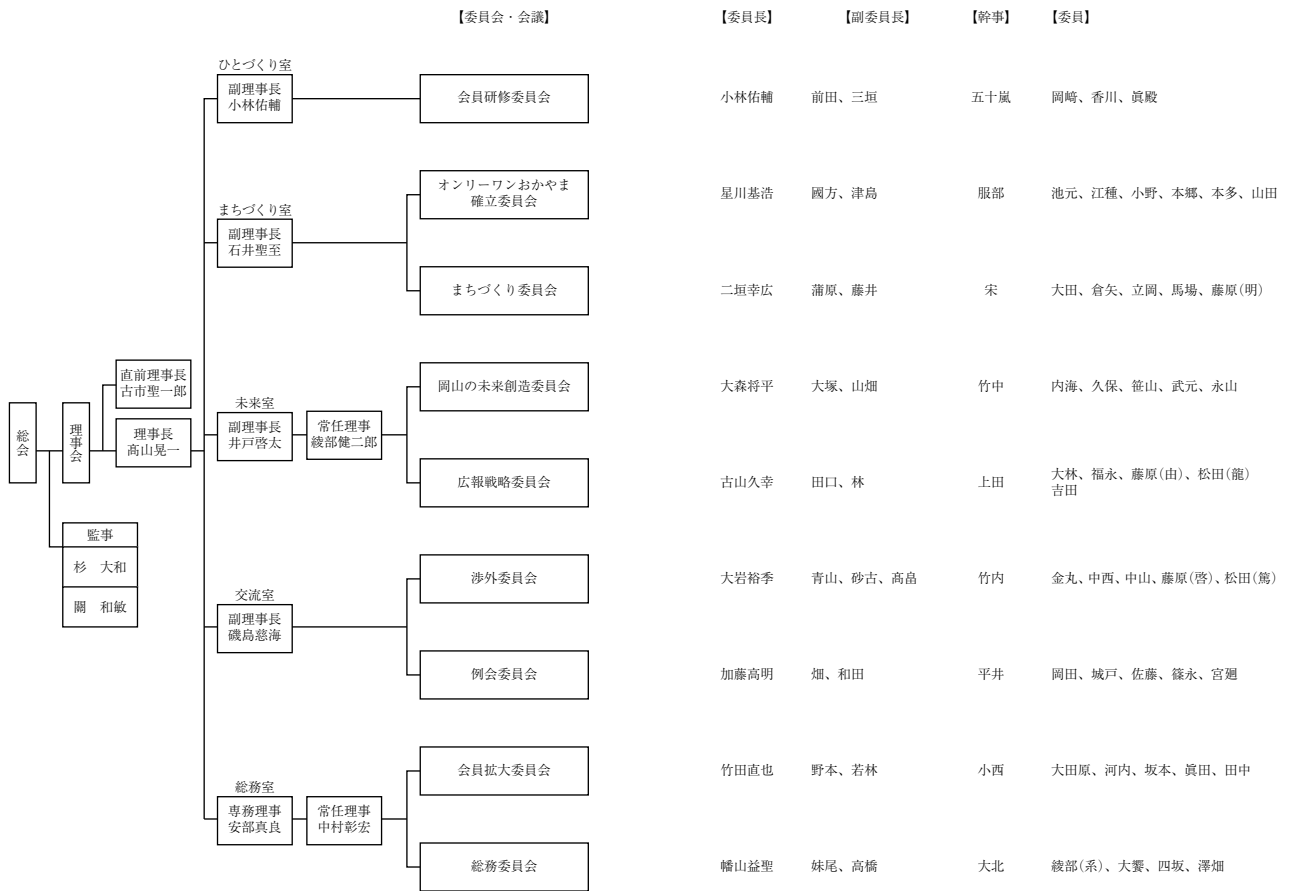
- ・ 会員拡大「後期新会員 2 名・前期新会員 2 名の獲得」
- ・ 適正な公益法人会計の実施
- ・ 会計経理事務並びに慶弔関係の実施
- ・ 庶務規定に沿った事務局運営
- ・ 総会、執行部会議、理事会の設営・運営・議事録並びに会議録の作成
- ・ 各資料の管理と整理
- ・ 各委員会事業計画、収支予算、補正予算並びに事業報告、収支決算の内容精査
- ・ 各会議への上程資料精査
- ・ 議案上程方法の精度向上とデジタル会議運営の推進
- ・ 事業計画書、事業報告書のフォーマット見直しと精度向上
- ・ 収支予算書、収支決算書の作成並びに修正予算、補正予算、中間決算の実施
- ・ 2 0 2 0 年度基本資料、事業報告書、会員手帳の作成及び追加
- ・ L O M 年間スケジュールの作成と確認
- ・ 理事長公職の整理・調整
- ・ 定款並びに諸規定・諸規則の見直し・検討
- ・ 個人情報の管理並びに管理データの見直し、コンプライアンス遵守の確認
- ・ 理事合宿、理事委員長予定者セミナー、副委員長・幹事予定者セミナーに企画・設営・開催
- ・ シニアクラブ総会、世話人会、歴代理事長会議の設営・開催
- ・ 日本 J C ・ 日中友好の会への入会促進
- ・ J C C S への登録促進
- ・ J C ルーム・倉庫内の備品管理と発注
- ・ 情報公開の精査と実施
- ・ 事業報告書のデータ保存・管理
- ・ L O M 開催事業への積極的参加と協力
- ・ 日本 J C 、中国地区協議会、岡山ブロック協議会開催事業への積極的参加と出向者への支援協力
- ・ 第 2 7 回「うらじゃ」への支援・協力
- ・ 7 0 周年式典・記念事業への支援・協力
- ・ 第 4 9 回日本 J C ジャがいもクラブ西日本大会への支援・協力

〔 8 〕 公益社団法人岡山青年会議所 2020年度 年間公式スケジュール表

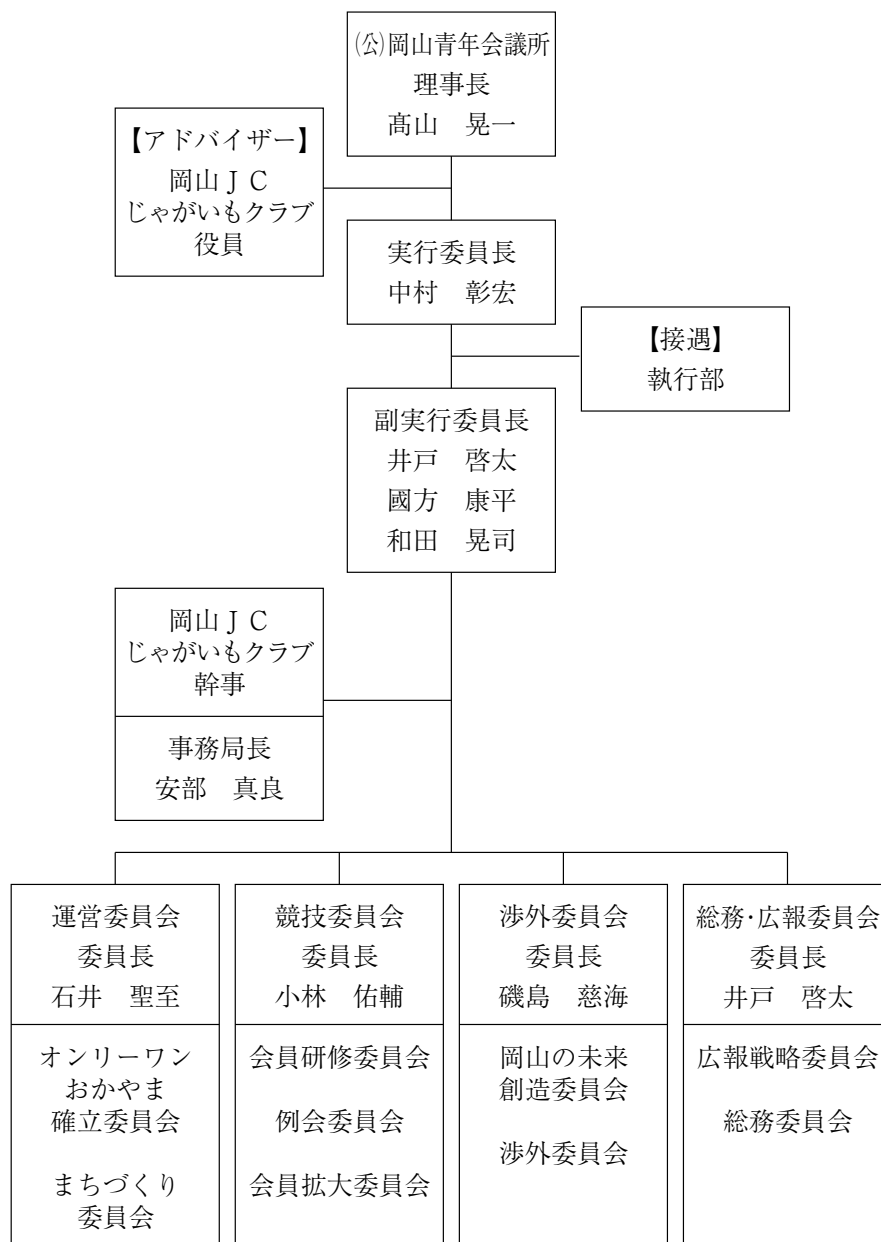
		1月	2月	3月	4月	5月	6月
岡山青年会議所	例会	9日(木)例会① バッジ授与式	6日(木)例会② 3分間スピーチ	4日(水)第一例会③ 総会① スマイル コミュニティ 18日(水)第二例会④ ブロック会長公式訪問 例会	8日(水)例会⑤	13日(水)例会⑥	10日(水)例会⑦ コミュニティ スマイル
	執行部会議	7日(火)第1回 執行部・理事合同会議	4日(火)第2回	2日(月)第3回 23日(月)第4回	20日(月)第5回	18日(月)第6回	8日(月)第7回
	理事会	1日(水)新年理事会 7日(火)第1回 執行部・理事合同会議	10日(月)第2回	9日(月)第3回 30日(月)第4回	27日(月)第5回	25日(月)第6回	15日(月)第7回
	総務委員会	2019年12月23日(月)第1回 27日(月)第2回	25日(火)第3回	16日(月)第4回	14日(火)第5回	11日(月)第6回	1日(月)第7回
	行事	7日(火) 新年挨拶回り 9日(木) 岡山JC新年賀詞交 歓会 16日(木)～19日(日) 京都会議	14日(金) 歴代理事長会議	21日(土) 新会員研修会(岡山)	12日(日)・13日(月) 西日本じゃがいも大 会	31日(日) 70周年記念式典	
岡山ブロック協議会	役員会議	11日(土)玉島 25日(土)玉島	8日(土)倉敷 21日(金)児島	10日(火)西大寺 26日(木)岡山	10日(金)新見 22日(水)井原	9日(土)美作 20日(水)笠岡	6日(土)玉野 20日(土)備前
	会員会議所会議	25日(土)玉島	21日(金)児島	26日(木)岡山	22日(水)井原	20日(水)笠岡	21日(日)備前
	公式訪問		28日(金)(総社) 総社・高梁	11日(水)(児島) 倉敷・児島・玉島 16日(月)(笠岡) 笠岡・井原 18日(水)(岡山) 岡山	8日(水)(西大寺) 玉野・西大寺・備前 23日(木)(津山) 津山・真庭・新見・美 作		
	事業			21日(土) 新会員研修会(岡山)		30日(土) JCカップ()	21日(日)備前 岡山ブロック大会 27日(土)() SDGs事業
	周年行事			14日(土) 倉敷JC周年		31日(日) 岡山JC周年	
	その他	10日(金) 新年挨拶回り 9日(木) 岡山JC新年賀詞交換会 10日(金) 倉敷JC新年互例会		24日(火) ブロックじゃがいも 下見ラウンド(倉敷) 野球監督キャプテン 会議(井原)	26日(日) ブロック野球大会 (井原) 12日(日)・13日(月) 西日本じゃがいも大 会	26日(火) ブロックじゃがいも 大会(倉敷) 会頭公式訪問	
中国地区協議会	正副会長会議	16日(木)	7日(金)	6日(金)	4日(土)	8日(金)	5日(金)
	財政審査会議	10日(金)	14日(金)	13日(金)	17日(金)	15日(金)	19日(金)
	役員会議	16日(木)京都	21日(金)金沢	19日(土)玉島	25日(土)三原	23日(土)岡山	24日(水)防府
	会員会議所会議	17日(金)京都					5日(金)山口
	事業						5日(金)～6日(土) 地区コンファレンス(山口)
	周年行事			14日(土) 倉敷JC周年	11日(土) 山口JC65周年 26日(日) 庄原JC55周年	24日(日) 境港JC55周年 岩国JC65周年 31日(日) 岡山JC70周年	27日(土) 福山JC60周年 28日(日) 宇都JC65周年
	ブロック事業						21日(日) 岡山ブロック大会 27日(土) 鳥根ブロック大会
	その他						
日本青年会議所	正副会頭会議	9日(木)東京 30日(木)	6日(木)WEB会議 27日(木)	5日(水)WEB会議	2日(木)WEB会議 9日(木) 28日(火)	7日(木)WEB会議	4日(木) 18日(木)沖縄 30日(火)
	常任理事会	10日(金)	14日(金)	12日(木)	17日(金)	15日(金)	19日(金)
	理事会	17日(金)京都	15日(土)	13日(金)	18日(土)	16日(土)	20日(土)沖縄
	ブロック会長会議						
	総会	18日(土)京都		28日(土)東京			
	JCI諸会議	日()～日() JCI常任理事会/ 理事会 (JCI JEM/ JBM)				20日(水)～23日(土) アメリカ地域会議 27日(水)～30日(土) ヨーロッパ地域会議	11日(木)～14日(日) アジア・太平洋地域 会議 17日(水)～20日(土) アフリカ・中東地域 会議
	NOM主要事業	16日(木)～19日(日) 京都会議(京都)	21日(金)～23日(日) 金沢会議(金沢)				
	財政審査会議	7日(火)、8日(水)	8日(土)、9日(日)	7日(土)、8日(日)	11日(土)、12日(日)	9日(土)、10日(日)	6日(土)、7日(日)
	公益審査会議	7日(火)	8日(土)	7日(土)	11日(土)	9日(土)	6日(土)
	コンプライアンス審査会議	7日(火)	8日(土)	7日(土)	11日(土)	9日(土)	6日(土)

		7月	8月	9月	10月	11月	12月
岡山青年会議所	例会	1日(水)第一例会⑧ 総会② バッジ授与式 15日(水)第二例会⑨ 総会③ チャレンジスピーチ	5日(水)例会⑩ 総会④ 3分間スピーチ 理事選挙	2日(水)例会⑪ スマイル コミュニティ 17日(木)例会⑫ OB合同例会	7日(水)例会⑬	11日(水)例会⑭ スマイル 出向者報告	9日(水)第一例会⑮ さよなら例会 23日(水)第二例会⑯ 総会⑤ クリスマス家族会 (親睦事業)
	執行部会議	15日(水)第8回 執行部・理事合同会議 28日(火)第9回	24日(月)第10回 執行部・理事合同会議	14日(月)第11回	7日(水)第12回	11日(水)第13回	7日(月)第14回 執行部・理事合同会議
	理事会	15日(水)第8回 執行部・理事合同会議	3日(月)第9回 24日(月)第10回 執行部・理事合同会議	23日(水)第11回	19日(月)第12回	24日(火)第13回	7日(月)第14回 執行部・理事合同会議
	総務委員会	6日(月)第8回 21日(火)第9回	17日(月)第10回	28日(月)第12回 7日(月)第11回	26日(月)第13回	30日(月)第14回	
	行事	18日(土)～19日(日) サマーコンファレンス(横浜)	22日(土)～23日(日) 第27回うらじゃ	24日(木)～27日(日) 全国大会(札幌)			23日(水) クリスマス家族会(親睦事業)
岡山ブロック協議会	役員会議			15日(火)総社 29日(火)津山	6日(火)岡山 26日(月)岡山	10日(火)岡山 28日(土)岡山	
	会員会議所会議			29日(火)津山	26日(月)岡山	28日(土)岡山	
	公式訪問						
	事業	3日(金) 会頭公式訪問(岡山)				28日(土) 本次年度引継式(岡山)	
	周年	5日(日) 西大寺JC周年式典					
	その他			ブロックサッカー大会	野球監督キャプテン会議(井原)		
中国地区協議会	正副会議	3日(金)		5日(土)下関	3日(土)	4日(水)横浜	
	財政審査会議	10日(金)		18日(金)	9日(金)	27日(金)	
	役員会議			26日(土)出雲	17日(月)米子	13日(金)周南	5日(土)未定
	会員会議所会議	22日(水)倉敷					5日(土)未定
	事業			5日(土)・6日(日) 中国地区野球大会(下関)			
	周年行事	4日(土)5日(日) 益田JC55周年 5日(日) 西大寺JC周年式典		4日(金) 広島JC70周年			
	ブロック事業				24日(土) 広島ブロック大会 山口ブロック大会 鳥取ブロック大会		
	その他						
日本青年会議所	正副会頭会議	9日(木)WEB会議		3日(木) 10日(木) JC会館	1日(木) 8日(木)WEB会議 29日(木)	12日(木)WEB会議	3日(木) 17日(木)JC会館
	常任理事会	16日(木)		11日(金)	16日(金)	20日(金)	18日(金)
	理事会	17日(金)		12日(土) 25日(金)札幌	17日(金)	21日(土)	19日(土)
	ブロック会長会議						
	総会			25日(金)札幌			
	JCI諸会議	23日(木)～25日(土) JCI中間常任理事会 (JCI MYE)				3日(火)～7日(土) JCI世界会議	
	NOM主要事業	日()～日() 国際アカデミー(福岡) 18日(土)～19日(日) サマーコンファレンス(横浜)		24日(木)～27日(日) 全国大会(札幌)			
	財政審査会議	11日(土)、12日(日)		5日(土)、6日(日)	10日(土)、11日(日)	14日(土)、15日(日)	12日(土)、13日(日)
	公益審査会議	11日(土)		5日(土)	10日(土)	14日(土)	12日(土)
	コンプライアンス審査会議	11日(土)		5日(土)	10日(土)	14日(土)	12日(土)

〔 9 〕 公益社団法人岡山青年会議所 2020年度 組織図



〔10〕 第49回 日本 J C ジャがいもクラブ西日本地区大会組織図



〔11〕 公益社団法人日本青年会議所 2020年度 出向者

国家グループ 国土強靱化委員会	委員長 統括幹事 委員 委員	關 和 敏 綾 部 系 一 田 口 貴 裕 藤 原 由 季 子	委員 委員 野 本 智 也 本 多 高 明
国家グループ 全国大会運営会議	副委員長 委員 委員 委員	高 畠 裕 介 青 山 雅 史 倉 矢 悠 毅 田 中 康 一	委員 委員 江 種 崇 行 眞 田 優 作
国家グループ 国民主権運営会議	委員	大 塚 真 弘	委員 大 林 宗 高
社会グループ SDGs推進会議	委員	畑 利 昌	委員 藤 原 明 裕

〔12〕 公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会 2020年度 出向者

	副会長 副会長幹事	小 林 佑 輔 内 海 尚 紀	副会長幹事 松 田 篤 郎
中国地区コンファレンス運営会議	委員	大 田 武 勇	委員 妹 尾 愛 希

〔13〕 公益社団法人日本青年会議所 中国地区岡山ブロック協議会 2020年度 出向者

	副会長 副会長幹事	井 戸 啓 太 池 元 純 一	副会長幹事 金 丸 俊 孝
総務ブランディング会議	副議長 議員	砂 古 和 宏 佐 藤 一 弥	
輝く人財育成委員会	副委員長 委員	三 垣 章 一 藤 原 啓 介	
笑顔溢れる郷土創造委員会	副委員長 委員	林 利 光 山 田 健 太 郎	
安全保障確立委員会	副委員長 委員	和 田 晃 司 中 山 友 二	

〔14〕 公益社団法人岡山青年会議所 2020年度 理事長セクレタリー

チーフセクレタリー 津 島 周 史 セクレタリー 大田原 基 敬 セクレタリー 城 戸 貴 登

〔15〕 公益社団法人岡山青年会議所 2020年度 役員選挙管理委員会 委嘱メンバー

委員長 副委員長 幹事	杉 大 和 高 橋 雄 大 岡 崎 信 英	委員 委員 委員 委員	香 川 陽 一 武 元 浩 福 永 涼 若 林 裕 聖
-------------------	-----------------------------	----------------------	--------------------------------------

〔16〕 公益社団法人岡山青年会議所 収支予算書

2020年1月1日から2020年12月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①特定資産運用収入	10,000	10,000	0	
特定資産利息収入	10,000	10,000	0	
②受取入会金収入	3,000,000	2,200,000	800,000	
受取入会金収入	3,000,000	2,200,000	800,000	
③会費収入	23,185,000	21,845,000	1,340,000	
正会員会費収入	20,070,000	18,540,000	1,530,000	
特別会員会費収入	2,640,000	2,880,000	-240,000	
特別会員積立金収入	475,000	425,000	50,000	
④事業収入	82,552,433	32,530,360	50,022,073	
登録料収入	82,552,433	15,758,000	66,794,433	
広告料収入	0	16,772,360	-16,772,360	
⑤受取補助金等収入	0	0	0	
⑥受取負担金収入	2,700,000	500,000	0	
⑦受取寄付金収入	300,000	220,000	80,000	
受取寄付金収入	300,000	220,000	80,000	
受取募金収入	0	0	0	
⑧雑収入	1,000	1,000	0	
受取利息収入	1,000	1,000	0	
雑収入			0	
事業活動収入計	111,748,433	57,306,360	52,242,073	
2. 事業活動支出	0	0	0	
①事業費支出	0	0	0	
事業費支出	0	0	0	
②管理費支出	124,077,158	55,265,932	68,811,226	
総務費支出	300,000	600,000	-300,000	
事務所費支出	3,080,000	3,080,000	0	
会議費支出	0	0	0	
給料手当支出	1,300,000	1,300,000	0	
退職給付手当支出	0	0	0	
福利厚生費支出	0	0	0	
事務委託費支出	825,000	919,467	-94,467	
旅費交通費支出	200,000	0	200,000	
通信費支出	1,384,084	997,956	386,128	
印刷費支出	1,175,712	2,341,800	-1,166,088	
消耗品支出	522,478	876,318	-353,840	
光熱水料金支出	31,788	19,872	11,916	
会員費支出	1,100,000	1,100,000	0	
例会費支出	0	0	0	
広報費支出	0	0	0	
特別会員費支出	0	0	0	
修繕支出	0	0	0	
租税公課	200	200	0	
渉外費	309,961	309,961	0	
J C I 渉外費	2,230,000	2,060,000	170,000	
備品購入支出	100,000	597,592	-497,592	
雑支出	100,000	101,080	-1,080	
賃借料	13,685,090	4,274,732	9,410,358	
保険料	1,698,702	106,270	1,592,432	
諸謝金	1,475,400	2,156,160	-680,760	
委託費	74,918,126	16,062,869	58,855,257	
助成金	16,173,731	16,681,750	-508,019	
接待交際費	1,258,630	896,956	361,674	
雑費	2,860	0	2,860	
予備費	2,205,396	782,949	1,422,447	
③負担金支出	2,060,144	1,908,408	151,736	
加盟団体会費支出	2,060,144	1,908,408	151,736	
④他会計への繰入金支出	0	0	0	
他会計への繰入金支出	0	0	0	
事業活動支出計	126,137,302	57,174,340	68,962,962	
事業活動収支差額	-14,388,869	132,020	-14,520,889	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
保証金戻り収入			0	
投資活動収入計			0	
2. 投資活動支出計			0	
①特定資産取得支出	0	0	0	
積立引当財産支出		0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入			0	
①借入金収入			0	
財務活動収入計			0	
2. 財務活動支出			0	
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	-14,388,869	132,020	-14,520,889	
前期繰越収支差額			0	
次期繰越収支差額				

公益社団法人岡山青年会議所 正味財産増減計算書
2020年1月1日から2020年12月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	予算額 (公益)	予算額 (共益等)	前年度予算額	差額
一般正味財産増減の部					
経常収益					
基本財産運用益	10,000	10,000		10,000	0
基本財産受取利息	10,000	10,000		10,000	0
特定資産運用益					0
特定資産受取利息					0
受取入会金	3,000,000	1,500,000	1,500,000	2,200,000	800,000
受取入会金	3,000,000	1,500,000	1,500,000	2,200,000	800,000
受取会費	23,185,000	11,592,500	11,592,500	21,845,000	1,340,000
正会員受取会費	20,070,000	10,035,000	10,035,000	18,540,000	1,530,000
特別会員受取会費	2,640,000	1,320,000	1,320,000	2,880,000	-240,000
特別会員積立金収入	475,000	237,500	237,500	425,000	50,000
事業収益	82,552,433	66,205,433	16,347,000	32,530,360	50,022,073
青少年育成事業収益	1,570,000	1,570,000	0	1,320,000	250,000
人材育成事業収益	0	1,783,000	0	0	0
地域活性化事業収益	64,635,433	62,852,433	0	24,096,360	40,539,073
会員研修事業収益	16,347,000	0	16,347,000	7,114,000	9,233,000
受取補助金等					
受取国庫補助金	0	0		0	0
受取負担金	2,700,000	2,700,000		500,000	
受取負担金	2,700,000	2,700,000		500,000	2,200,000
受取負担金振替額					
受取寄付金	300,000	300,000		220,000	80,000
受取寄付金	300,000	300,000		220,000	80,000
募金収益					
受取寄付金振替額					
雑収益	1,000	500	500	1,000	0
受取利息	1,000	500	500	1,000	0
有価証券運用益	0			0	0
雑収益	0			0	0
経常収益計	111,748,433	79,608,433	29,440,000	57,306,360	52,242,073
経常費用					
事業費	118,397,747	90,386,297	28,011,450	49,299,855	69,097,892
給料手当	1,137,500	975,000	162,500	1,137,500	0
臨時雇賃金	0	0	0	0	0
接待交際費	1,258,630	0	1,258,630	896,956	361,674
福利厚生費	0	0	0	0	0
旅費交通費	200,000	0	200,000	0	200,000
通信運搬費	1,309,084	926,566	382,518	922,956	386,128
減価償却費	0	0	0	0	0
什器備品費	87,500	75,000	12,500	522,893	-435,393
消耗品費	478,728	332,069	146,659	832,568	-353,840
印刷製本費	1,040,012	878,000	162,012	2,206,100	-1,166,088
燃料費	1,428	1,428	0	0	1,428
光熱水料費	30,360	20,240	10,120	19,872	10,488
賃借料	16,380,090	11,029,170	5,350,920	6,969,732	9,410,358
保険料	1,698,702	1,644,910	53,792	106,270	1,592,432
諸謝費	1,475,400	1,175,400	300,000	2,156,160	-680,760
租税公課	200	200	0	200	0
支払負担金	0	0	0	0	0
支払助成金	16,173,731	16,173,731	0	16,681,750	-508,019
支払寄付金	0	0	0	0	0
委託費	74,918,126	55,710,056	19,208,070	16,062,869	58,855,257
有価証券運用費	0	0	0	0	0
雑費	2,860	1,100	1,760	1,080	1,780
予備費	2,205,396	1,443,427	761,969	782,949	1,422,447
管理費	7,739,555		7,739,555	7,874,485	-134,930
給料手当	162,500		162,500	162,500	0
臨時雇賃金	0		0	0	0
接待交際費	0		0	0	0
福利厚生費	0		0	0	0
旅費交通費	0		0	0	0
通信運搬費	75,000		75,000	75,000	0
減価償却費	0		0	0	0
什器備品費	12,500		12,500	74,699	-62,199
消耗品費	43,750		43,750	43,750	0
印刷製本費	135,700		135,700	135,700	0
燃料費	0		0	0	0
光熱水料費	0		0	0	0
賃借料	385,000		385,000	385,000	0
保険料	0		0	0	0
諸謝費	0		0	0	0
租税公課	0		0	0	0
支払負担金	2,060,144		2,060,144	1,908,408	151,736
支払助成金	0		0	0	0
支払寄付金	0		0	0	0
委託費	2,225,000		2,225,000	2,619,467	-394,467
有価証券運用費	0		0	0	0
雑費	2,639,961		2,639,961	2,469,961	170,000
経常費用計	126,137,302	90,386,297	35,751,005	57,174,340	68,962,962
当期経常増減額	-14,388,869	-10,777,864	-6,311,005	132,020	-16,720,889
当期一般正味財産増減	-14,388,869	-10,777,864	-6,311,005	132,020	-16,720,889
一般正味財産期首残高				53,242,133	0
一般正味財産期末残高				53,374,153	

公益目的事業比率

90,386,297
126,137,302

=

0.717

公益社団法人岡山青年会議所 正味財産増減計算書内訳表
2020年1月1日から2020年12月31日まで

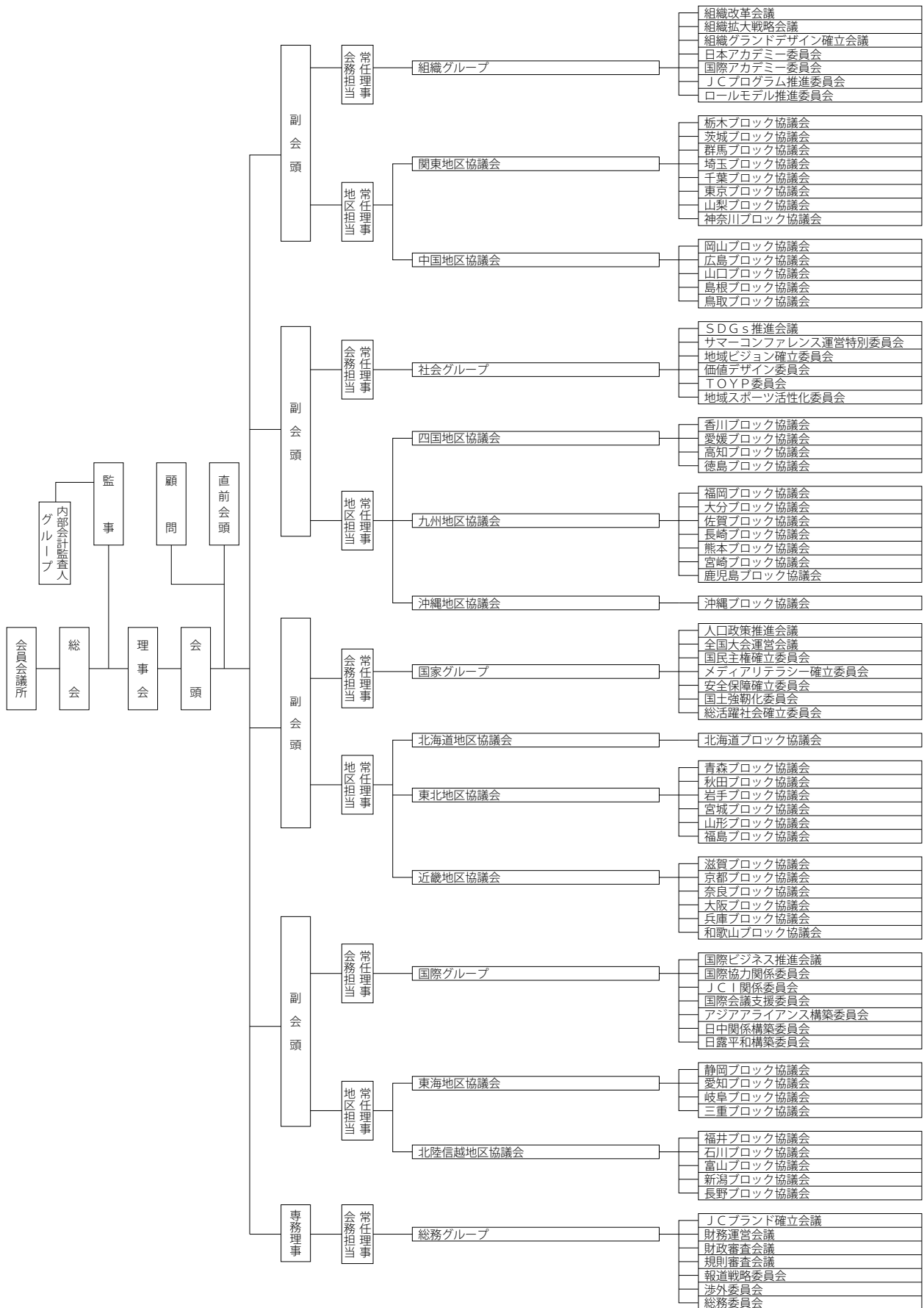
(単位:円)

科目	公益目的事業					収益事業等		法人会計	内部取引	合計
	公1 青少年育成	公2 人材育成	公3 地域活性化	共通	小計	他1 会員研修	小計			
一般正味財産増減の部										
経常収益					0					
基本財産運用益				10,000	10,000					10,000
基本財産受取利息				10,000	10,000					10,000
受取入会金	0	0	0	1,500,000	1,500,000	750,000	750,000	750,000	0	3,000,000
受取入会金				1,500,000	1,500,000	750,000	750,000	750,000		3,000,000
受取会費	0	0	0	11,592,500	11,592,500	5,796,250	5,796,250	5,796,250		23,185,000
正会員受取会費				10,035,000	10,035,000	5,017,500	5,017,500	5,017,500		20,070,000
特別会員受取会費				1,320,000	1,320,000	660,000	660,000	660,000		2,640,000
特別会員積立金収入				237,500	237,500	118,750	118,750	118,750		475,000
事業収益	1,570,000	1,783,000	62,852,433		66,205,433	16,347,000	16,347,000			82,552,433
青少年育成事業収益	1,570,000				1,570,000		0			1,570,000
人材育成事業収益					0		0			0
地域活性化事業収益		1,783,000	62,852,433		64,635,433		0			64,635,433
会員研修事業収益					0	16,347,000	16,347,000			16,347,000
受取補助金等	0	0	0		0					0
受取国庫補助金	0									0
受取負担金	1,200,000		1,500,000		2,700,000					2,700,000
受取負担金	1,200,000		1,500,000		2,700,000					2,700,000
受取負担金振替額	0				0					0
受取寄付金				300,000	300,000			0		300,000
受取寄付金				300,000	300,000					300,000
雑収益				500	500	250	250	250		1,000
受取利息				500	500	250	250	250		1,000
有価証券運用益										0
雑収益										0
経常収益計	2,770,000	1,783,000	64,352,433	13,403,000	82,308,433	22,893,500	22,893,500	6,546,500		111,748,433
経常費用										
事業費	5,642,975	2,944,178	81,799,144		90,386,297	28,011,450	28,011,450			118,397,747
給料手当	60,450	32,175	882,375		975,000	162,500	162,500			1,137,500
臨時雇賃金					0		0			0
接待交際費					0	1,258,630	1,258,630			1,258,630
福利厚生費					0		0			0
旅費交通費					0	200,000	200,000			200,000
通信運搬費	217,362	14,850	694,354		926,566	382,518	382,518			1,309,084
減価償却費					0		0			0
什器備品費	4,650	2,475	67,875		75,000	12,500	12,500			87,500
消耗品費	83,644	8,663	239,762		332,069	146,659	146,659			478,728
印刷製本費	50,480	90,669	736,851		878,000	162,012	162,012			1,040,012
燃料費	1,428				1,428		0			1,428
光熱水料費	20,240	0	0		20,240	10,120	10,120			30,360
賃借料	1,297,690	468,930	9,262,550		11,029,170	5,350,920	5,350,920			16,380,090
保険料	140,910	0	1,504,000		1,644,910	53,792	53,792			1,698,702
諸謝費	0	1,175,400	0		1,175,400	300,000	300,000			1,475,400
租税公課	0	200	0		200	0	0			200
支払負担金	0	0	0		0	0	0			0
支払助成金	0	0	16,173,731		16,173,731	0	0			16,173,731
支払寄付金	0	0	0		0	0	0			0
委託費	3,549,370	896,020	51,264,666		55,710,056	19,208,070	19,208,070			74,918,126
有価証券運用費					0		0			0
雑費 雑支出	0	0	1,100		1,100	1,760	1,760			2,860
予備費	216,751	254,796	971,880		1,443,427	761,969	761,969			2,205,396
管理費								7,739,555	0	7,739,555
役員報酬										0
給料手当								162,500		162,500
退職給付費用										0
福利厚生費										0
会議費										0
旅費交通費										0
通信運搬費								75,000		75,000
減価償却費										0
什器備品費								12,500		12,500
消耗品費								43,750		43,750
修繕費										0
印刷製本費								135,700		135,700
燃料費										0
光熱水料費										0
賃借料								385,000		385,000
保険料										0
諸謝費										0
租税公課										0
支払負担金								2,060,144		2,060,144
支払寄付金										0
支払利息										0
委託費 総務費								300,000		300,000
委託費 事務委託								825,000		825,000
委託費 会員費								1,100,000		1,100,000
委託費 特別会員費								0		0
委託費 広報費								0		0
雑費 渉外費								309,961		309,961
雑費 JCI渉外費								2,230,000		2,230,000
雑費 雑支出								100,000		100,000
経常費用計	5,642,975	2,944,178	81,799,144	0	90,386,297	28,011,450	28,011,450	7,739,555		126,137,302
評価損益等調整前当期経常増減額										0
特定資産評価損益等										0
評価損益等計										0
当期経常増減額	-2,872,975	-1,161,178	-17,446,711	13,403,000	-8,077,864	-5,117,950	-5,117,950	-1,193,055		-14,388,869
経常外費用計										0
当期経常外増減額	-2,872,975	-1,161,178	-17,446,711	13,403,000	-8,077,864	-5,117,950	-5,117,950	-1,193,055		-14,388,869
当期一般正味財産増減	-2,872,975	-1,161,178	-17,446,711	13,403,000	-8,077,864	-5,117,950	-5,117,950	-1,193,055		-14,388,869
一般正味財産期首残高										0
一般正味財産期末残高										0

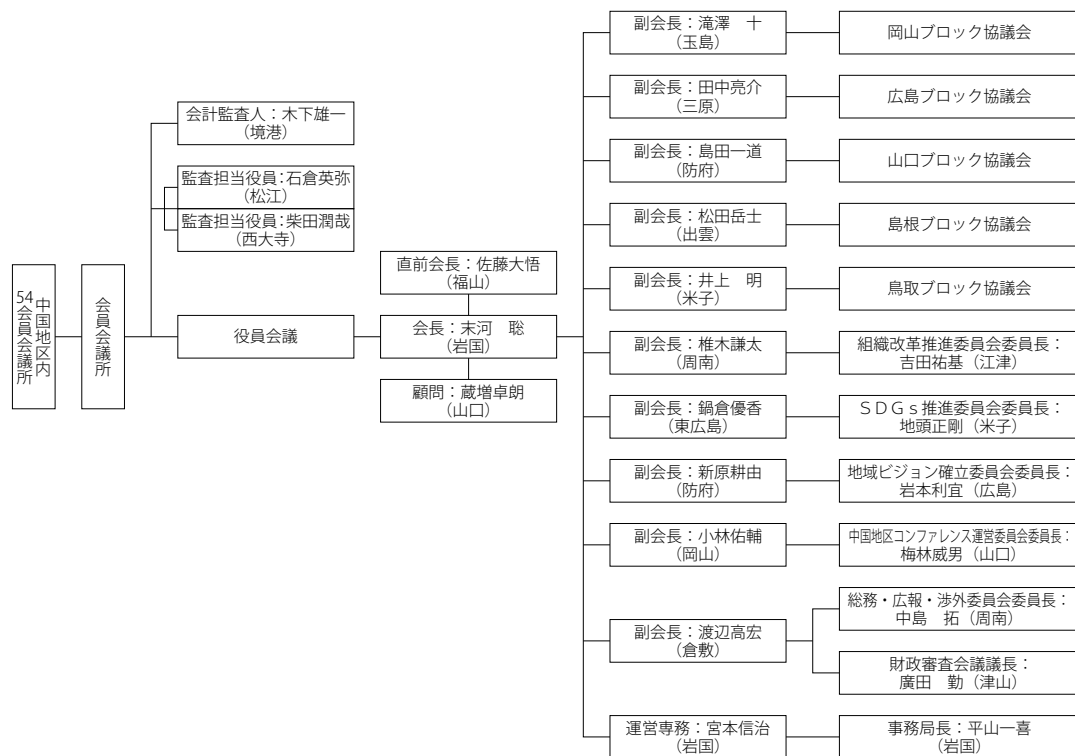
公益社団法人岡山青年会議所 2020年度 理事長公職委嘱表

- 岡山県青少年育成県民会議 常任理事
- 岡山県FOS少年団連盟 理事
- 社会福祉法人岡山県共同募金会 評議委員
- 岡山中央暴力追放推進協議会 会員
- 岡山県西暴力追放推進協議会 会員
- 「小さな親切」運動岡山本部 役員
- 第69回“社会を明るくする運動”岡山県推進委員会 委員
- 自然と共生プロジェクト推進会議 委員
- 国立吉備少年自然の家 施設業務運営委員会 委員
- 民間活力による運動部活動支援研究会 委員
- 岡山市交通安全対策協議会 委員
- 岡山国際音楽祭実行委員会 委員
- 岡山市献血推進協議会 委員
- 公益財団法人岡山市公園協会 評議委員
- 春の花いっぱい運動 主催団体
- MOMOTAROU FANTASY実行委員会 実行委員長
- 「心豊かな岡山っ子」応援団 副団長
- 岡山市オレンジリボンキャンペーン実行委員会 実行委員
- 岡山地方裁判所委員会 委員
- 岡山市ジュニアオーケストラ後援会 理事
- 岡山まちとモビリティ研究会 会員
- 岡山っ子育成樹齢推進会議 委員
- 旭川かわまちづくり計画事業推進会議 委員
- 岡山県日韓親善協会 理事
- 岡山県警察友の会 会員
- 「6月1日岡山市民の日」推進協議会 理事
- G20岡山保健大臣会合支援推進協議会 委員
- 岡山県医師会禁煙推進協議会

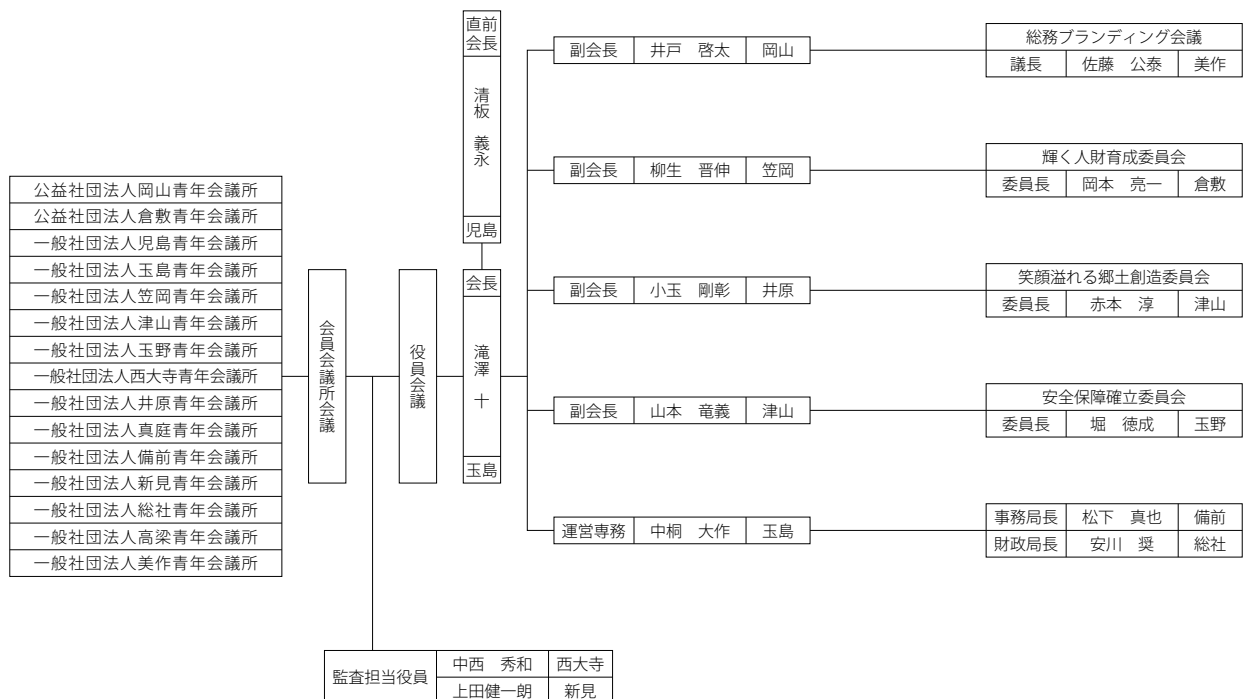
公益社団法人日本青年会議所 2020年度 組織図



公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会 2020年度 組織図



公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会 2020年度 組織図



公益社団法人岡山青年会議所 歴代理事長

初 代	1951年	江 見 祐 吉	第36代	1986年	末 長 範 彦
第2代	1952年	江 見 祐 吉	第37代	1987年	伊原木 省 五
第3代	1953年	松 田 基	第38代	1988年	池 田 金治郎
第4代	1954年	松 田 基	第39代	1989年	若 林 昭 吾
第5代	1955年	服 部 好 郎	第40代	1990年	中 島 康 博
第6代	1956年	稲 田 洋 一	第41代	1991年	永 野 資 幸
第7代	1957年	藤 木 昌 二	第42代	1992年	松 田 久
第8代	1958年	池 田 徳五郎	第43代	1993年	服 部 恭一郎
第9代	1959年	庭 瀬 欣一郎	第44代	1994年	柳 井 淳
第10代	1960年	松 田 堯	第45代	1995年	森 下 矢須之
第11代	1961年	関 種 雄	第46代	1996年	西 康 宏
第12代	1962年	西 下 賢 治	第47代	1997年	梶 谷 俊 介
第13代	1963年	逢 沢 英 雄	第48代	1998年	稲 荷 泰 瑛
第14代	1964年	石 原 真 臣	第49代	1999年	永 山 久 人
第15代	1965年	小 林 達 也	第50代	2000年	黒 瀬 仁 志
第16代	1966年	中 島 輝 夫	第51代	2001年	西 川 智 晴
第17代	1967年	黒 瀬 友 近	第52代	2002年	岡 崎 正 裕
第18代	1968年	小 林 稔	第53代	2003年	藤 原 史 暁
第19代	1969年	奥 山 勝太郎	第54代	2004年	梶 原 康 彦
第20代	1970年	中 島 博	第55代	2005年	八 木 一 成
第21代	1971年	木 原 佑 一	第56代	2006年	占 部 守 弘
第22代	1972年	黒 瀬 敦 美	第57代	2007年	吉 村 武 大
第23代	1973年	中 野 英 一	第58代	2008年	石 田 敦 志
第24代	1974年	徳 元 秀 臣	第59代	2009年	永 山 雅 己
第25代	1975年	福 武 和 彦	第60代	2010年	岸 本 浩 二
第26代	1976年	片 山 義 久	第61代	2011年	中 山 賢太郎
第27代	1977年	伊原木 一 衛	第62代	2012年	有 松 林太朗
第28代	1978年	石 田 規 夫	第63代	2013年	尾 崎 茂
第29代	1979年	藤 原 敬 介	第64代	2014年	鈴 森 賢 史
第30代	1980年	前 坂 匡 紀	第65代	2015年	久 松 朋 史
第31代	1981年	服 部 弘 平	第66代	2016年	佐 野 範 一
第32代	1982年	野 津 喬	第67代	2017年	高 見 宣 哉
第33代	1983年	岡 崎 彬	第68代	2018年	青 木 浩 平
第34代	1984年	滝 澤 輝 治	第69代	2019年	古 市 聖一郎
第35代	1985年	小 嶋 光 信			

(敬称略)

岡山 J C 設立趣意書

1. 経済活動は、人類社会の基盤であり青年は人類社会発展の原動力であります。吾々はこの意義と誇りの重責に答えんとしここに岡山青年会議所を設立せんとする。
2. 急迫せる国際情勢下郷土の産業経済的發展、日本経済の再建にたずさわる吾等青年実業家の任務はまことに重大である。吾等郷土の経済活動の第一線にたずさわるもの縣下の各層にわたり同土を集め、もつて岡山青年会議所を其の名にふさわしいものにせんとする。
3. 国際経済を離れて日本経済は成立しない。吾等は日本青年会議所を通し、国際青年会議所の精神をわがものにし、国際親善に志し世界の青年と緊密なる提携のもとに平和に寄與し経済活動における人道的世界観を築きもつて祖国日本郷土岡山のあやまりなき再建にいささか貢献せんとする。

(1951年2月6日 創立総会)

